

新型コロナウイルス感染症に係る罹患後症状 (いわゆる後遺症) 実態把握調査結果

愛知県保健医療局感染症対策課

2024年11月19日

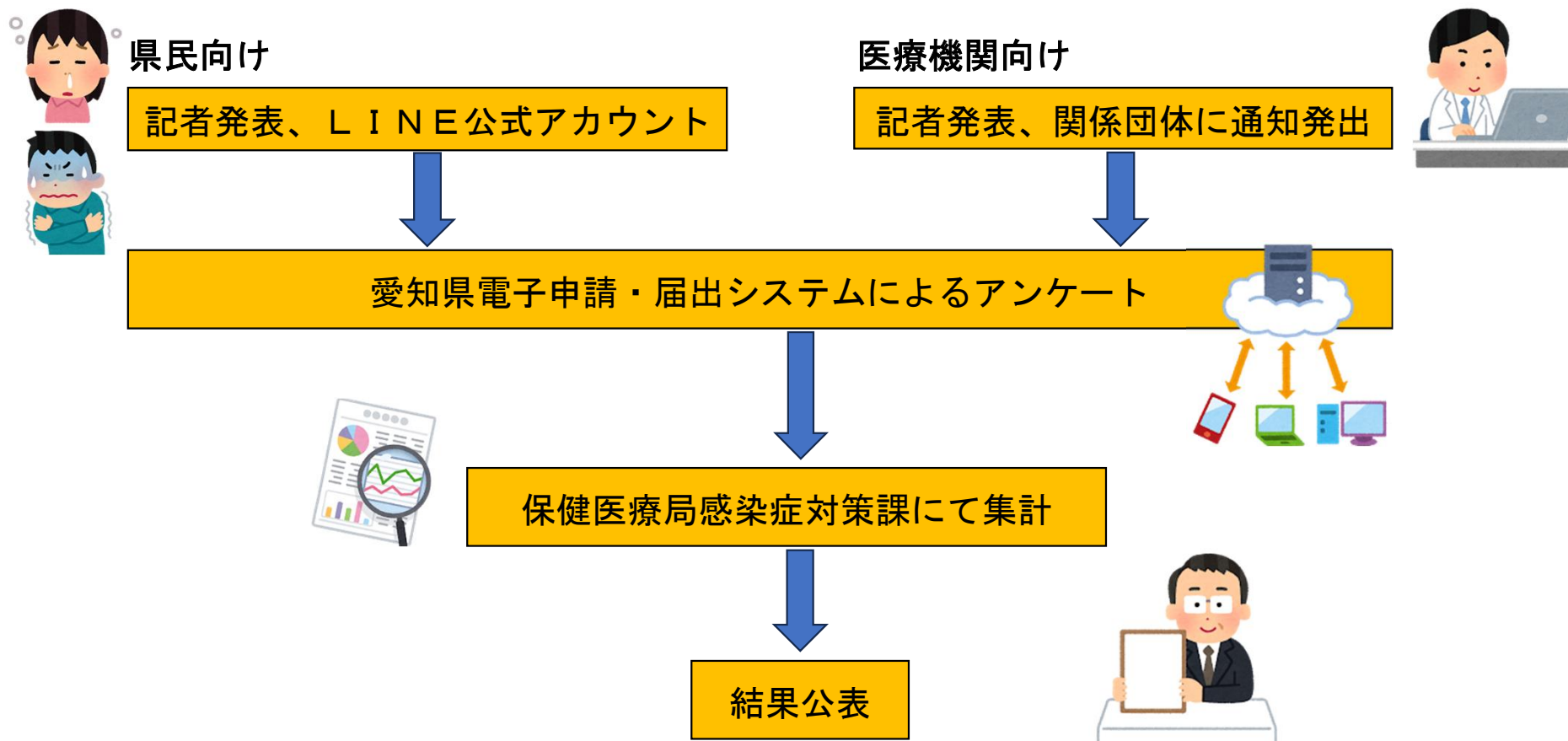
1 調査の目的



新型コロナウイルスに感染し、回復した後にも罹患後症状（いわゆる後遺症）として、様々な症状が見られる場合があるが、診断や治療の方法は確立されていない状況にある。

愛知県では、罹患後症状に悩む県民の実態及び医療機関での外来対応の実態を把握することを目的として、本調査を実施した。

2 調査の概要



3 県民向け調査

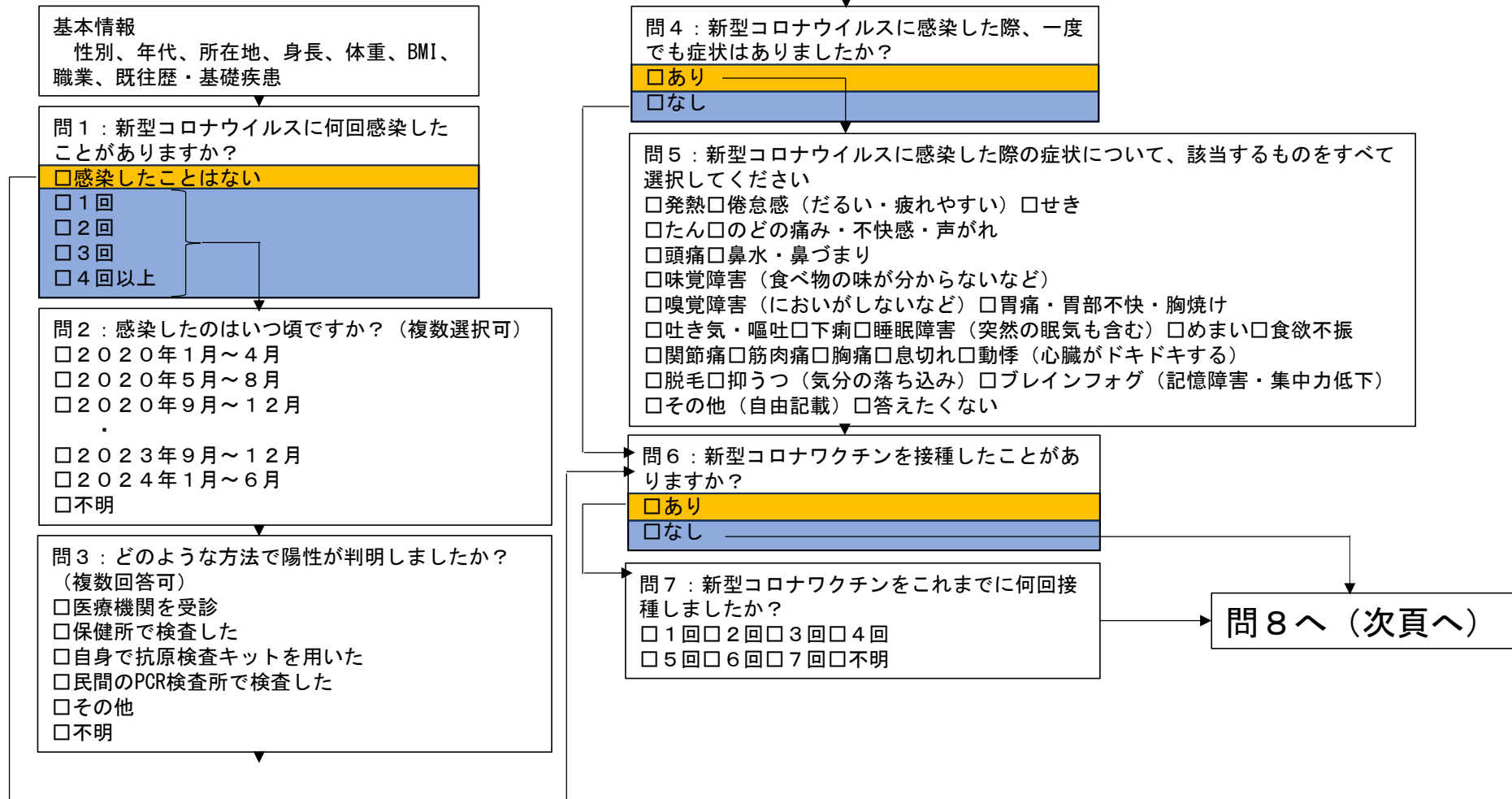
目的	新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む 県民の実態を把握するため
対象者	全ての県民
調査方法	愛知県電子申請・届出システム（Webフォーム）
調査期間	2024年6月26日（水）～7月26日（金）
回答者数	3,037人

(1) アンケート内容

基本情報	性別、年代、所在地、身長、体重、BMI、職業、既往歴・基礎疾患
問1	新型コロナウイルスに何回感染したことがありますか？
問2	感染したのはいつ頃ですか？（複数回答可）
問3	どのような方法で陽性が判明しましたか？（複数回答可）
問4	新型コロナウイルスに感染した際、一度でも症状はありましたか？
問5	新型コロナウイルスに感染した際の症状について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）
問6	新型コロナワクチンを接種したことがありますか？
問7	新型コロナワクチンをこれまでに何回接種しましたか？
問8	症状が一番重い新型コロナウイルス感染症の後遺症を経験したのは、何回目の感染時ですか？
問9	問8の感染時には、どのように生活していましたか？
問10	問8の感染時において、新型コロナワクチンは何回接種していましたか？
問11	問8の後遺症の経験は、直近の新型コロナワクチン接種からどのくらい経過していましたか？

問12	新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状について、特に強く出た（出ている）症状を3つまで選択してください。
問13	新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）
問14	新型コロナウイルス感染症の後遺症は、どれくらいの期間続いていましたか？（又は続いていますか？）
問15	新型コロナウイルス感染症の後遺症によって、社会生活に影響はありましたか？（現在も続いていますか？）
問16	新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する不安や悩みで該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）
問17	医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症の後遺症の相談・治療をしたことがありますか？
問18	受診する医療機関はどのように探しましたか？（複数回答可）
問19	受診する医療機関を探すのにどのくらいかかりましたか？
問20	新型コロナウイルス感染症の後遺症の相談・治療のための通院期間はどの程度ですか？
問21	問17で「なし」と回答した方にのみお尋ねします。医療機関を受診しなかったのはなぜですか？（複数回答可）

(第1 感染状況等 問1～7)



(第2 後遺症について 問8～14)

問8：症状が一番重い新型コロナウイルス感染症の後遺症を経験したのは、何回目の感染時ですか？

- 1回目の感染後
- 2回目の感染後
- 3回目の感染後
- 4回目以降の感染後
- 不明

まだ経験したことがない

回答終了

問9：問8の感染時には、どのように生活していましたか？

- 症状はほとんど（まったく）なく、平常時と同じ生活ができた
- 症状はあったが、日常生活はできた
- 症状がひどく、日常生活を送ることは困難だった
- その他

問10：問8の感染時において、新型コロナワクチンは何回接種していましたか？

- 1回 2回 3回 4回 5回
- 6回 7回 不明 接種していない

問11：問8の後遺症の経験は、直近の新型コロナワクチン接種からどのくらい経過していましたか？

- ワクチン接種後約3か月未満
- ワクチン接種後約3か月以上6か月未満
- ワクチン接種後約6か月以上1年未満
- ワクチン接種後約1年以上2年未満
- ワクチン接種後約2年以上
- 不明 その他 ワクチンを接種していない

問12：新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状について、特に強く出た（出ている）症状を3つまで選択してください。

- 発熱 倦怠感（だるい・疲れやすい） せき
- たん のどの痛み・不快感・声がれ
- 頭痛 鼻水・鼻づまり
- 味覚障害（食べ物の味が分からないなど）
- 嗅覚障害（においがしないなど） 胃痛・胃部不快・胸焼け
- 吐き気・嘔吐 下痢 睡眠障害（突然の眠気も含む） めまい 食欲不振
- 関節痛 筋肉痛 胸痛 息切れ 動悸（心臓がドキドキする）
- 脱毛 抑うつ（気分の落ち込み） ブレインフォグ（記憶障害・集中力低下）
- その他（自由記載）

問13：新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状について、該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）

- 発熱 倦怠感（だるい・疲れやすい） せき
- たん のどの痛み・不快感・声がれ
- 頭痛 鼻水・鼻づまり
- 味覚障害（食べ物の味が分からないなど）
- 嗅覚障害（においがしないなど） 胃痛・胃部不快・胸焼け
- 吐き気・嘔吐 下痢 睡眠障害（突然の眠気も含む） めまい 食欲不振
- 関節痛 筋肉痛 胸痛 息切れ 動悸（心臓がドキドキする）
- 脱毛 抑うつ（気分の落ち込み） ブレインフォグ（記憶障害・集中力低下）
- その他（自由記載）

問14：新型コロナウイルス感染症の後遺症は、どのくらいの期間続いていますか？（又は続いていましたか？）

- 2か月以上3か月未満
- 3か月以上6か月未満
- 6か月以上1年未満
- 1年以上2年未満
- 2年以上

問15へ（次頁へ）

(第2 後遺症について 問15～21)

問15：新型コロナウイルス感染症の後遺症によって、社会生活に影響はありましたか？（現在も続いていますか？）

- 影響はなかった
- 仕事や学校を休んだ
- 仕事や学校を1週間以上1か月未満休んだ
- 仕事や学校を1か月以上休んだ
- 仕事や学校を辞めた
- その他（自由記載）

問16：新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する不安や悩みで該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）

- 体調の回復や健康面
- 仕事、学校
- 金銭面
- 家族、友人、人間関係
- 今後の生活
- その他（自由記載）
- 不安や悩みはない

問17：医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症の後遺症の相談・治療をしたことがありますか？

- あり
- なし

問18：受診する医療機関はどのように探しましたか？（複数回答可）

- かかりつけ医に相談した
- 県WEBページの後遺症対応医療機関を参考にした
- インターネットで後遺症対応医療機関を検索した
- その他（自由記載）

問19：受診する医療機関を探すのにどのくらいかかりましたか？

- 1週間未満
- 1週間以上1か月未満
- 1か月以上3か月未満
- 3か月以上6か月未満
- 6か月以上1年未満
- 1年以上 不明 その他

問20：新型コロナウイルス感染症の後遺症の相談・治療のための通院期間はどの程度ですか？

- 1か月未満
- 1か月以上3か月未満
- 3か月以上6か月未満
- 6か月以上1年未満
- 1年以上2年未満
- 2年以上

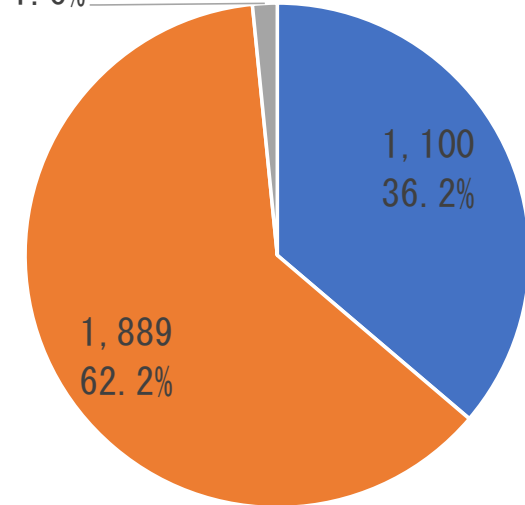
問21：問17で「なし」と回答した方にのみお尋ねします。医療機関を受診しなかったのはなぜですか？（複数回答可）

- 症状の様子をみていたから
- どの医療機関を受診すればよいか分からなかった
- 受診する時間が無かったから
- 医療費がかかるから
- 受診するほど症状が強くなかったから
- 受診しても症状が改善するとは思えなかったから
- 特段の理由なし
- その他（自由記載）

回答終了

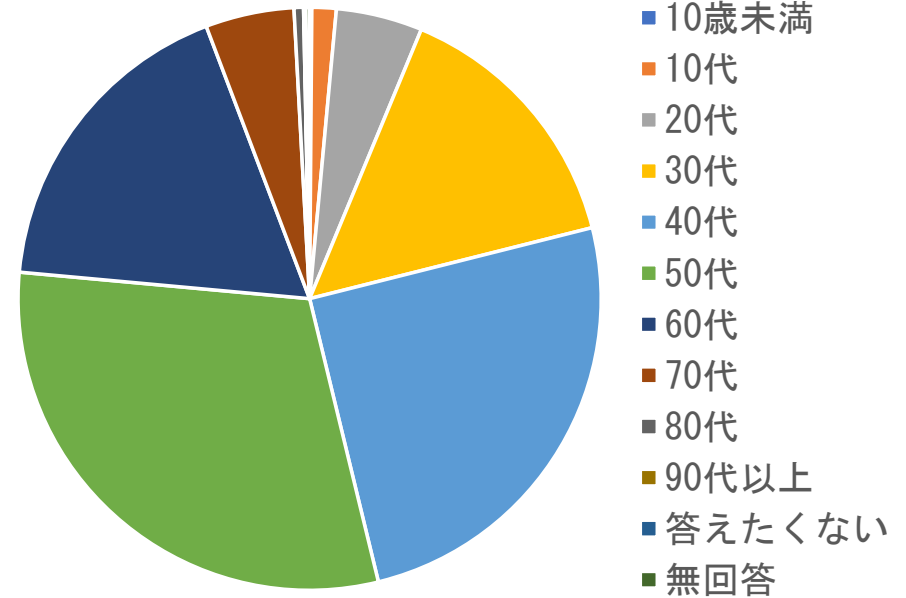
(2) 調査結果

基本情報（性別）
(n = 3,037)

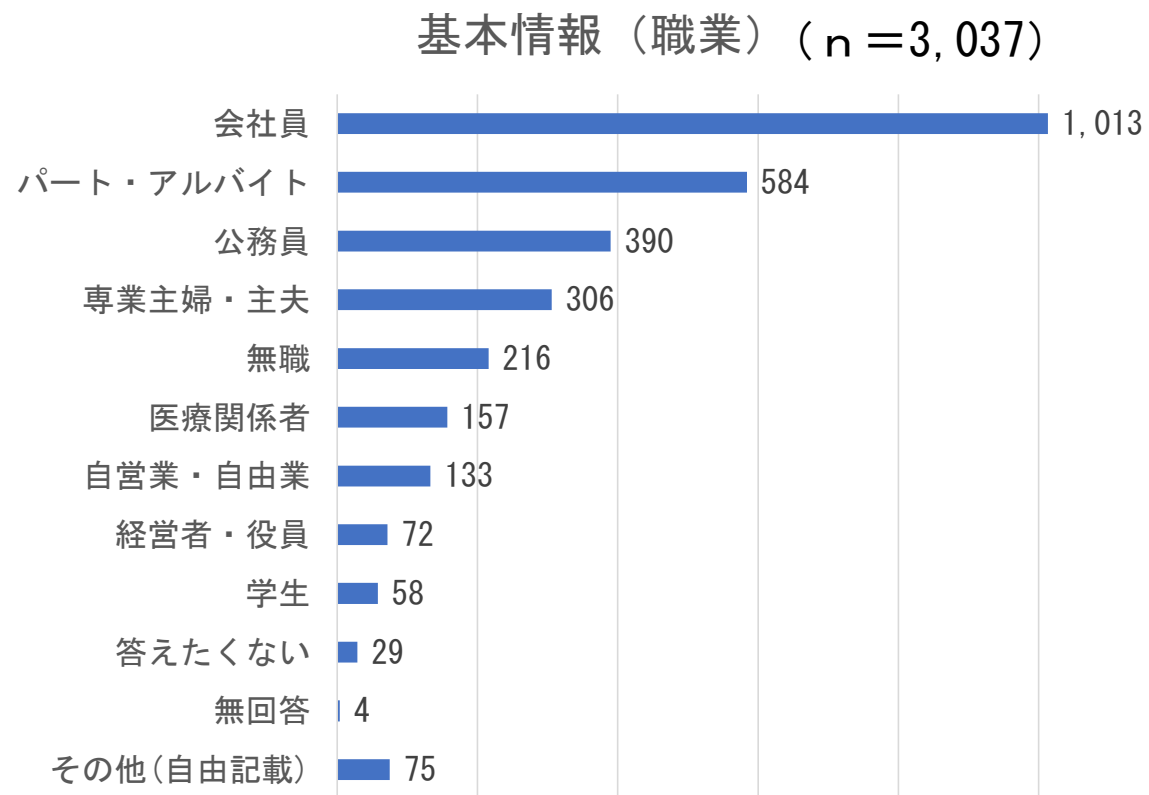
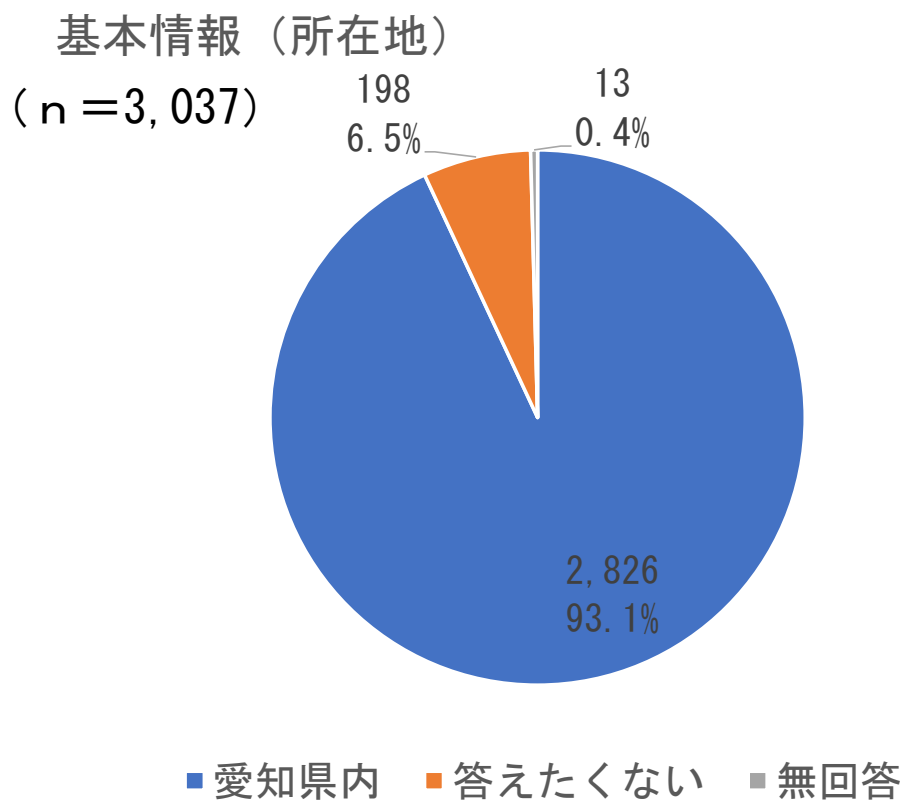


■ 男性 ■ 女性 ■ 非選択・無回答

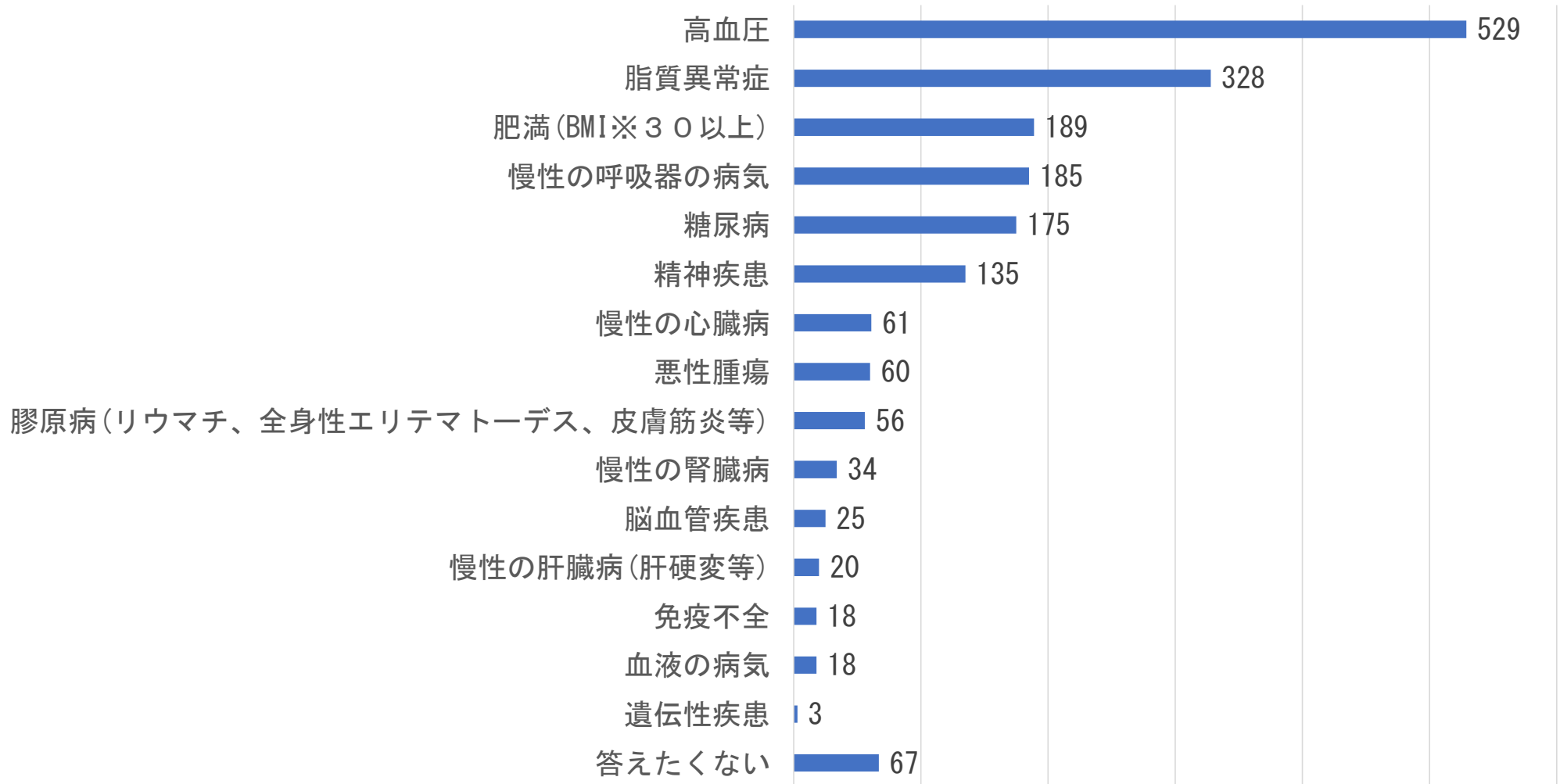
基本情報（年代） (n = 3,037)



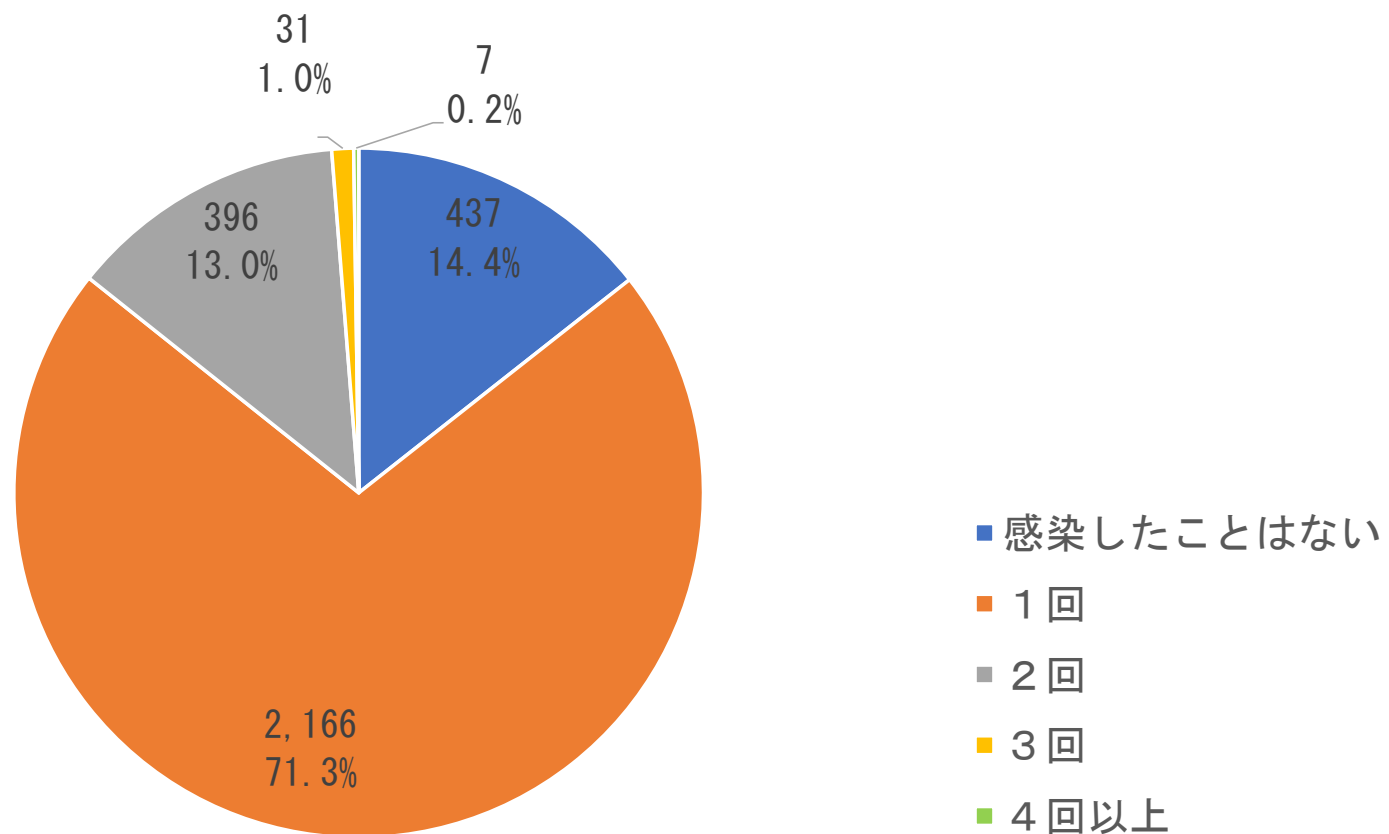
年代	人数	割合
10歳未満	4	0.13%
10代	41	1.35%
20代	145	4.77%
30代	450	14.82%
40代	763	25.12%
50代	919	30.26%
60代	540	17.78%
70代	149	4.91%
80代	16	0.53%
90代以上	1	0.03%
答えたくない	3	0.10%
無回答	6	0.20%



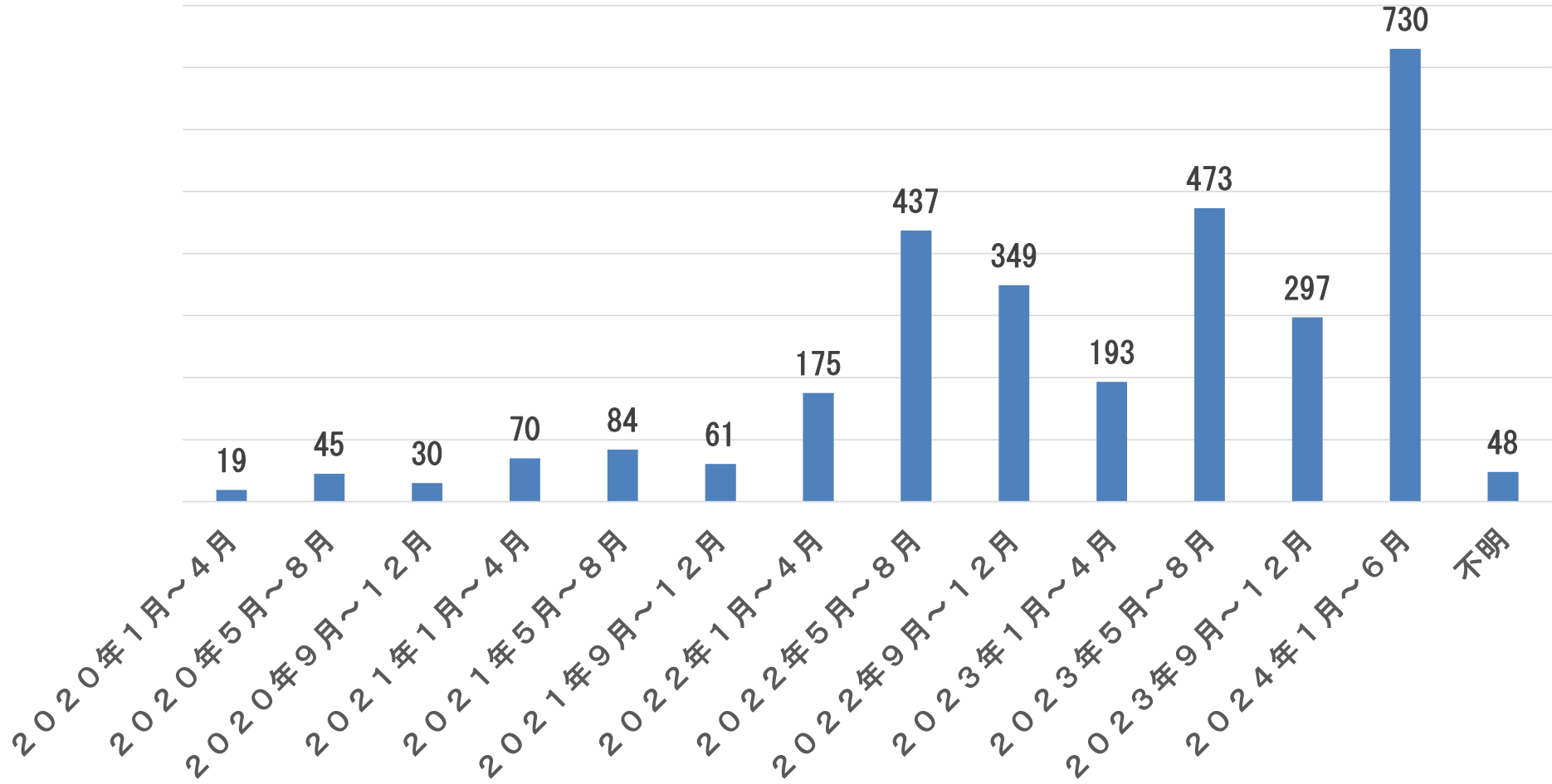
基本情報（既往歴・基礎疾患（複数回答あり））（総回答数：1,903）



問1 新型コロナウイルス感染症に何回感染したことがありますか？ (n=3,037)

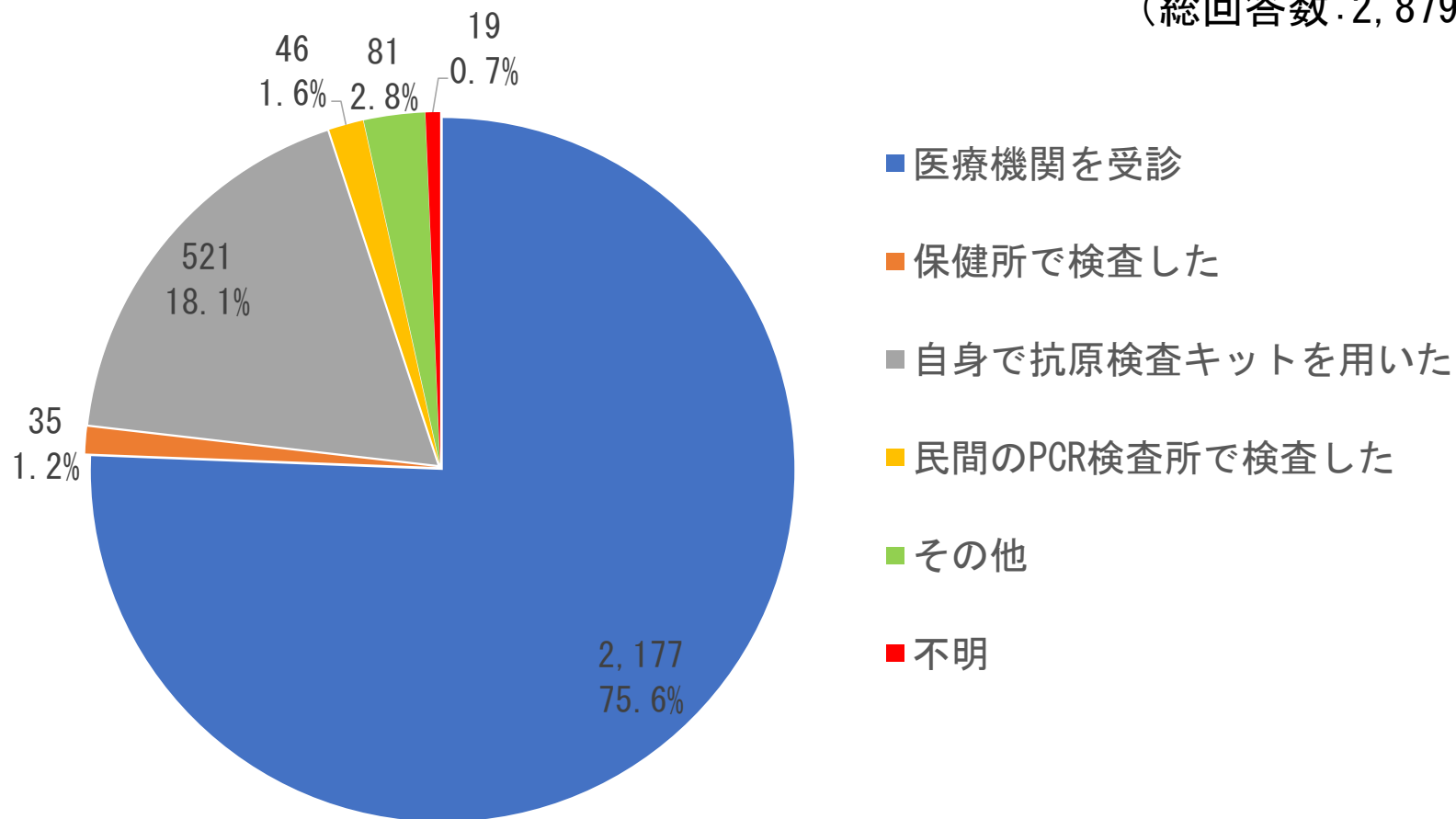


問2 感染したのはいつごろですか？（複数回答可）（総回答数：3,011）

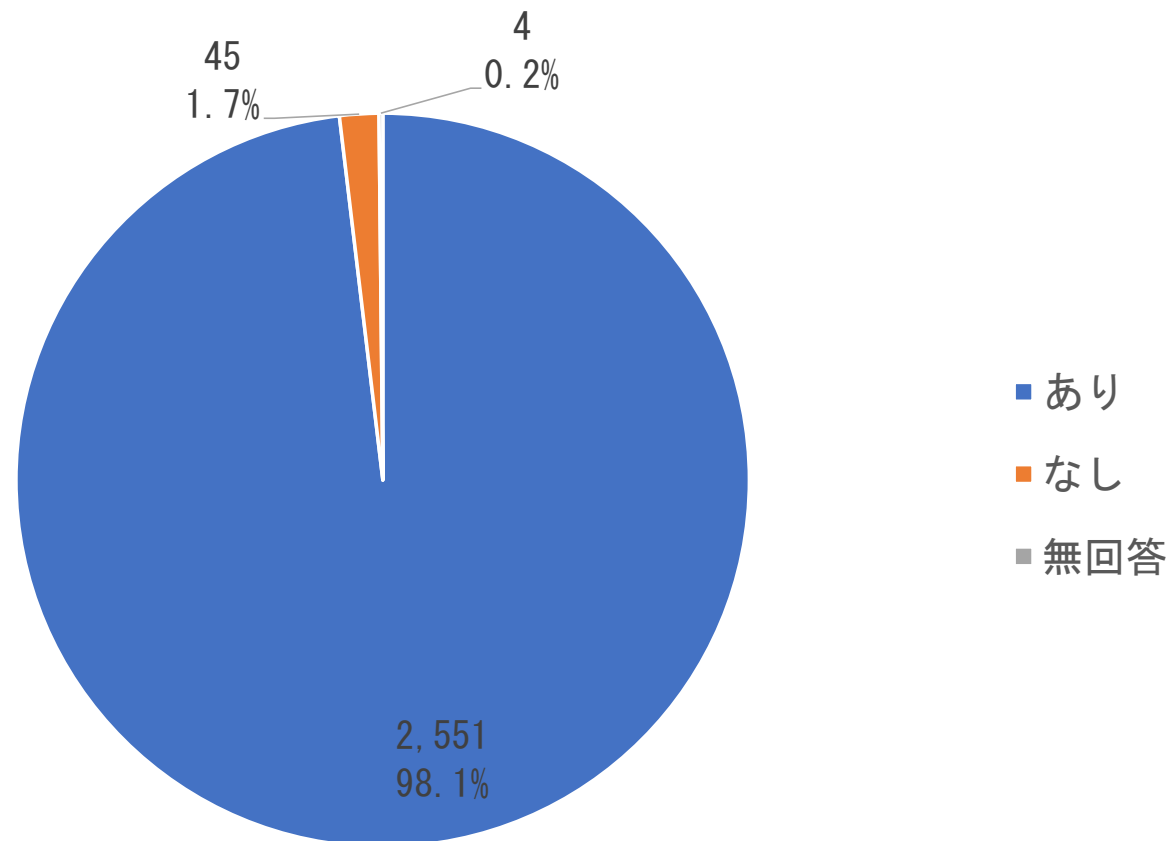


問3 どのような方法で陽性が判明しましたか？（複数回答可）

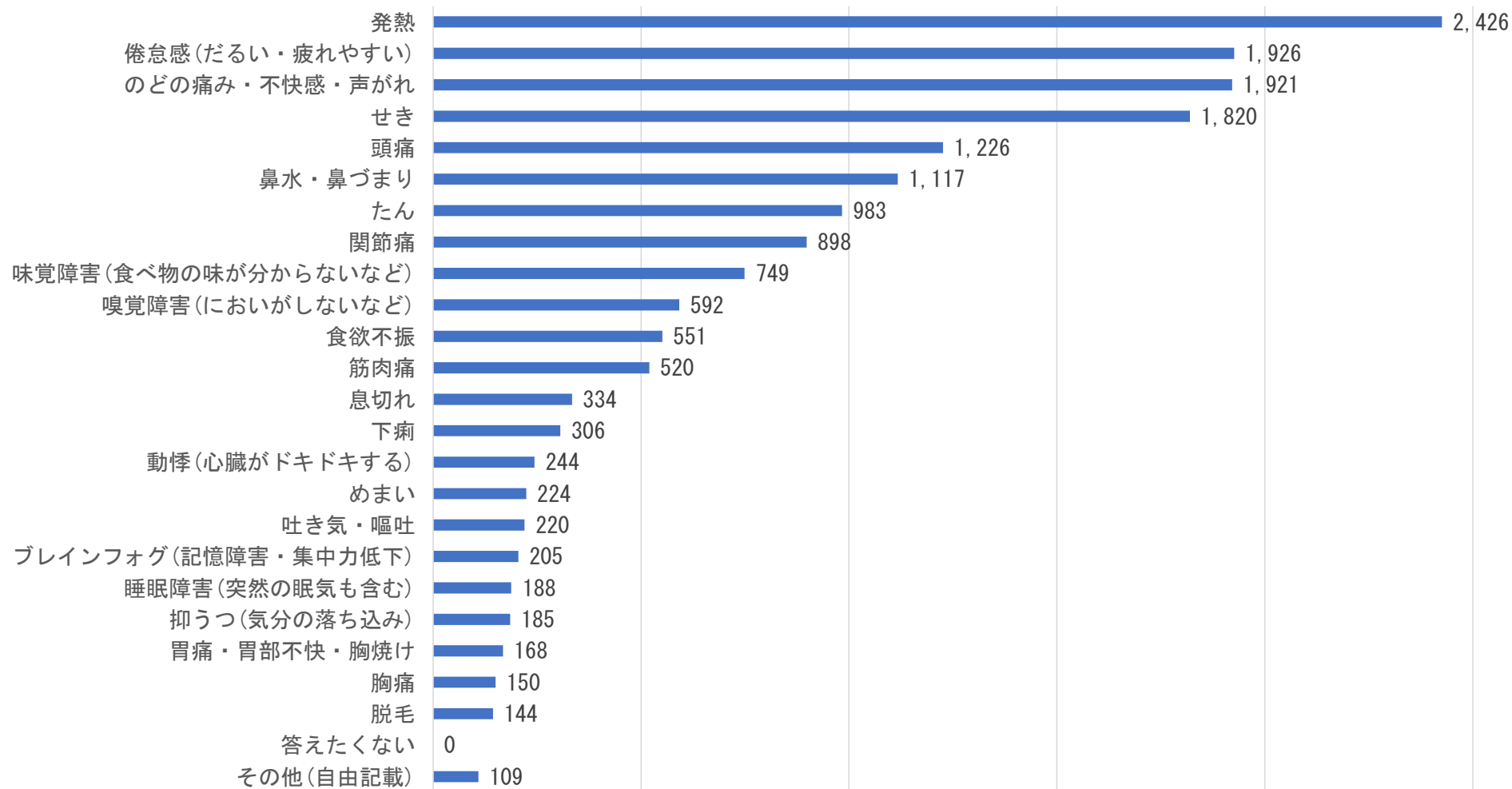
（総回答数：2,879）



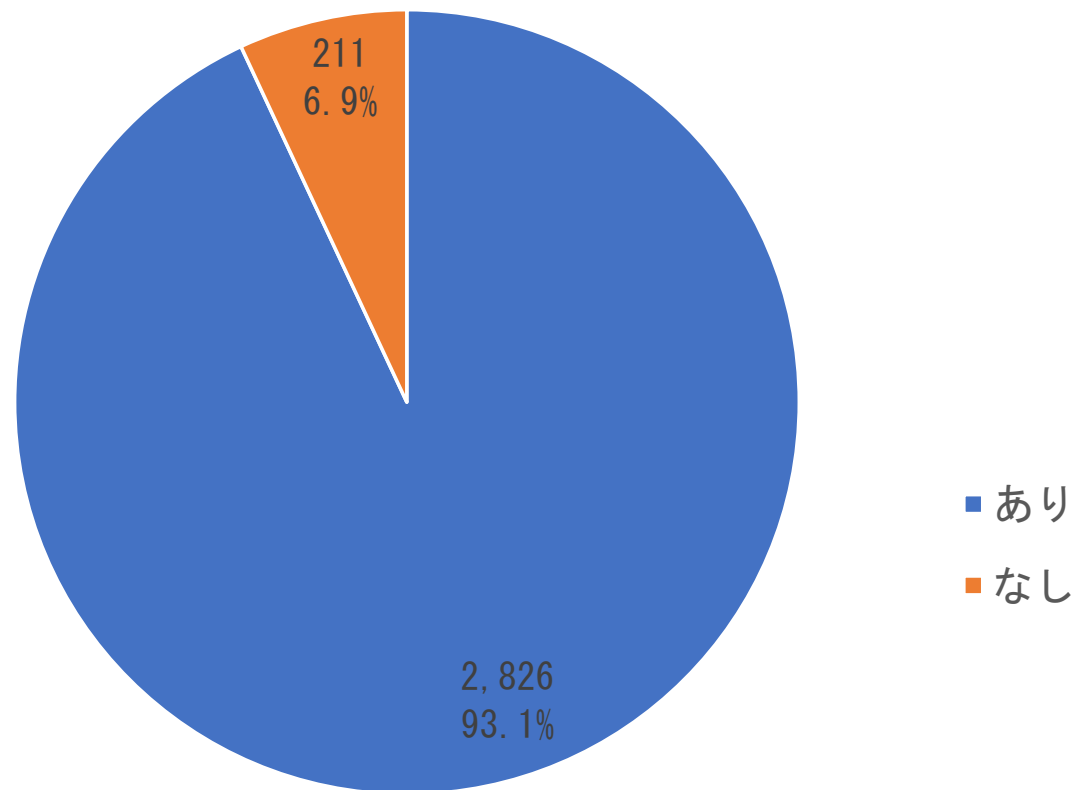
問4 新型コロナウイルスに感染した際、一度でも症状はありましたか？ (n=2,600)



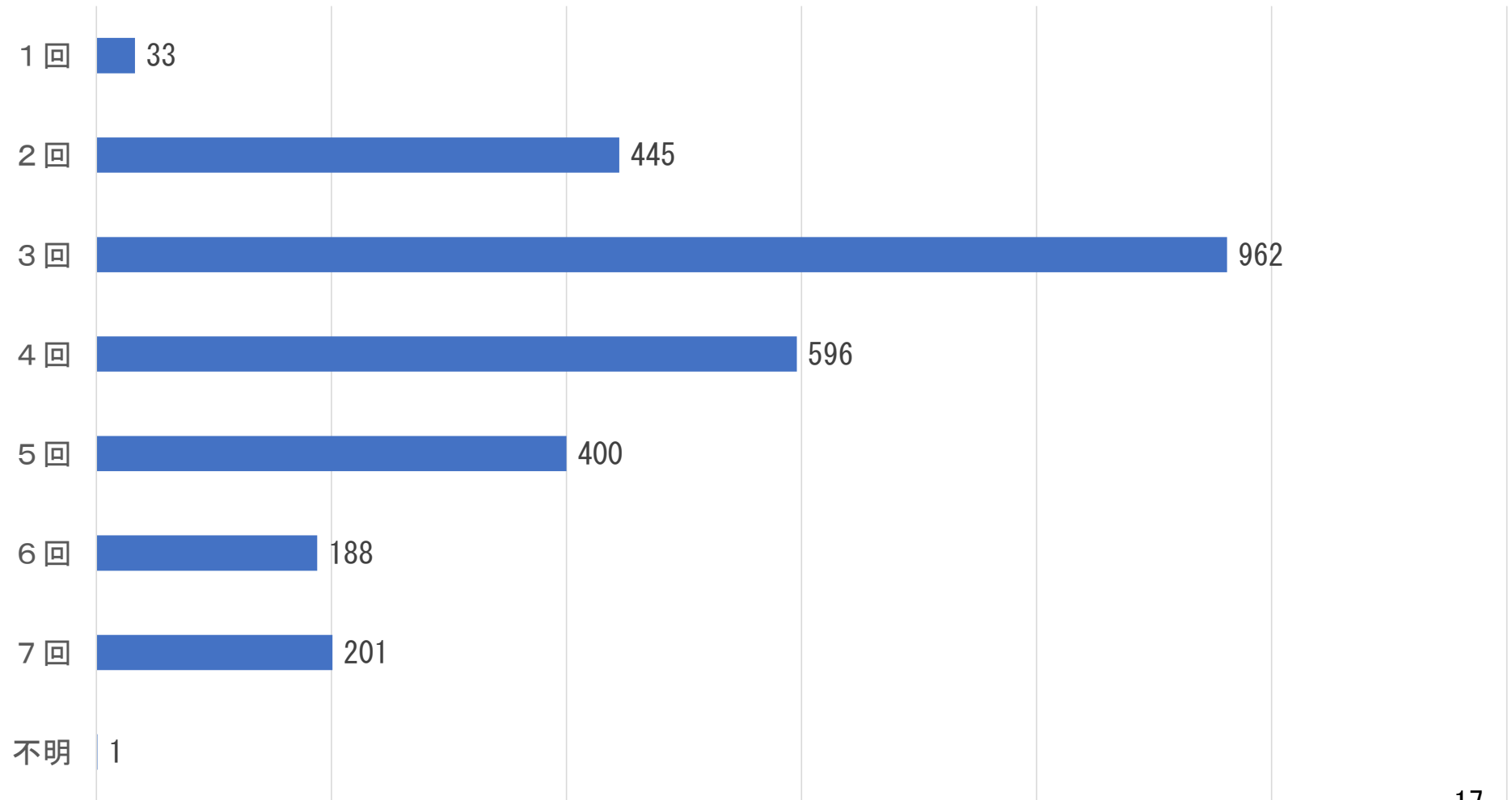
問5 新型コロナウイルスに感染した際の症状について、（総回答数：17,206）
該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）



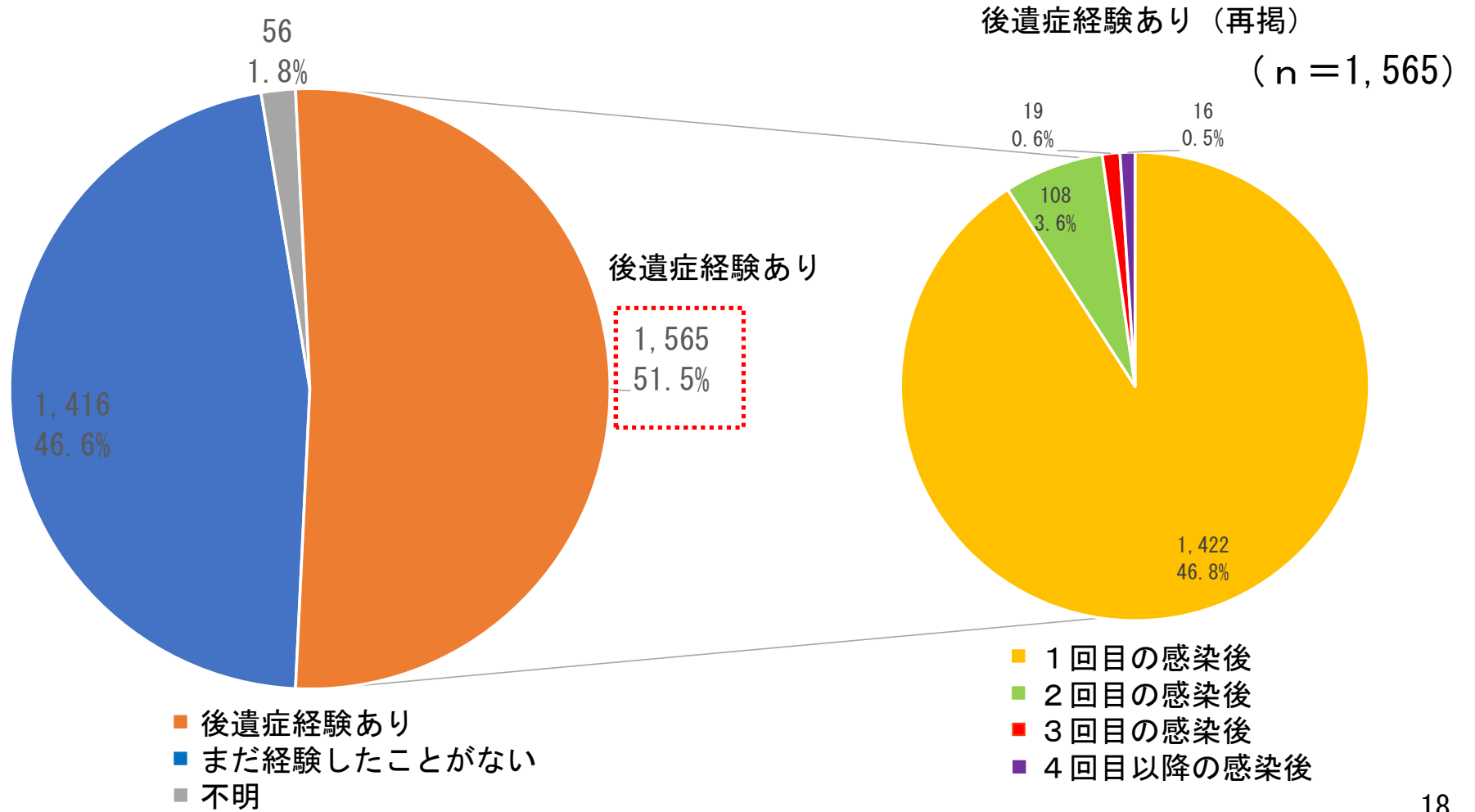
問6 新型コロナワクチンを接種したことがありますか？
(n=3,037)



問7 新型コロナワクチンをこれまで何回接種しましたか？ (n=2,826)

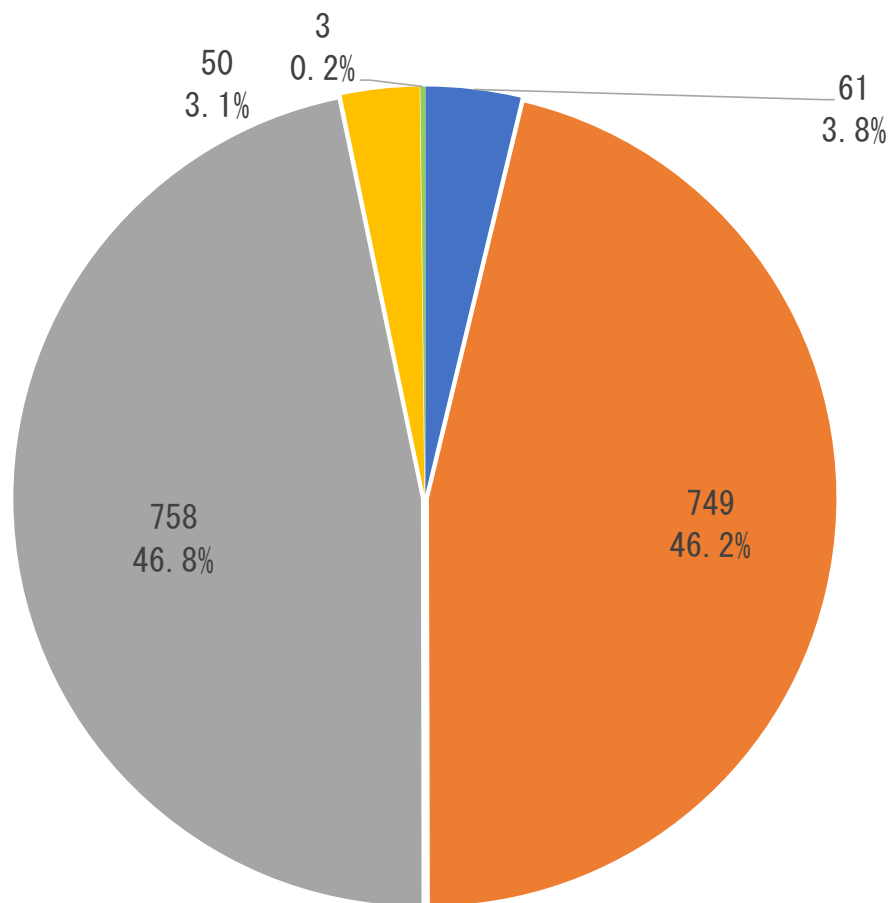


問 8 症状が一番重い新型コロナウイルス感染症の後遺症を経験したのは、何回目の感染ですか？ (n=3,037)



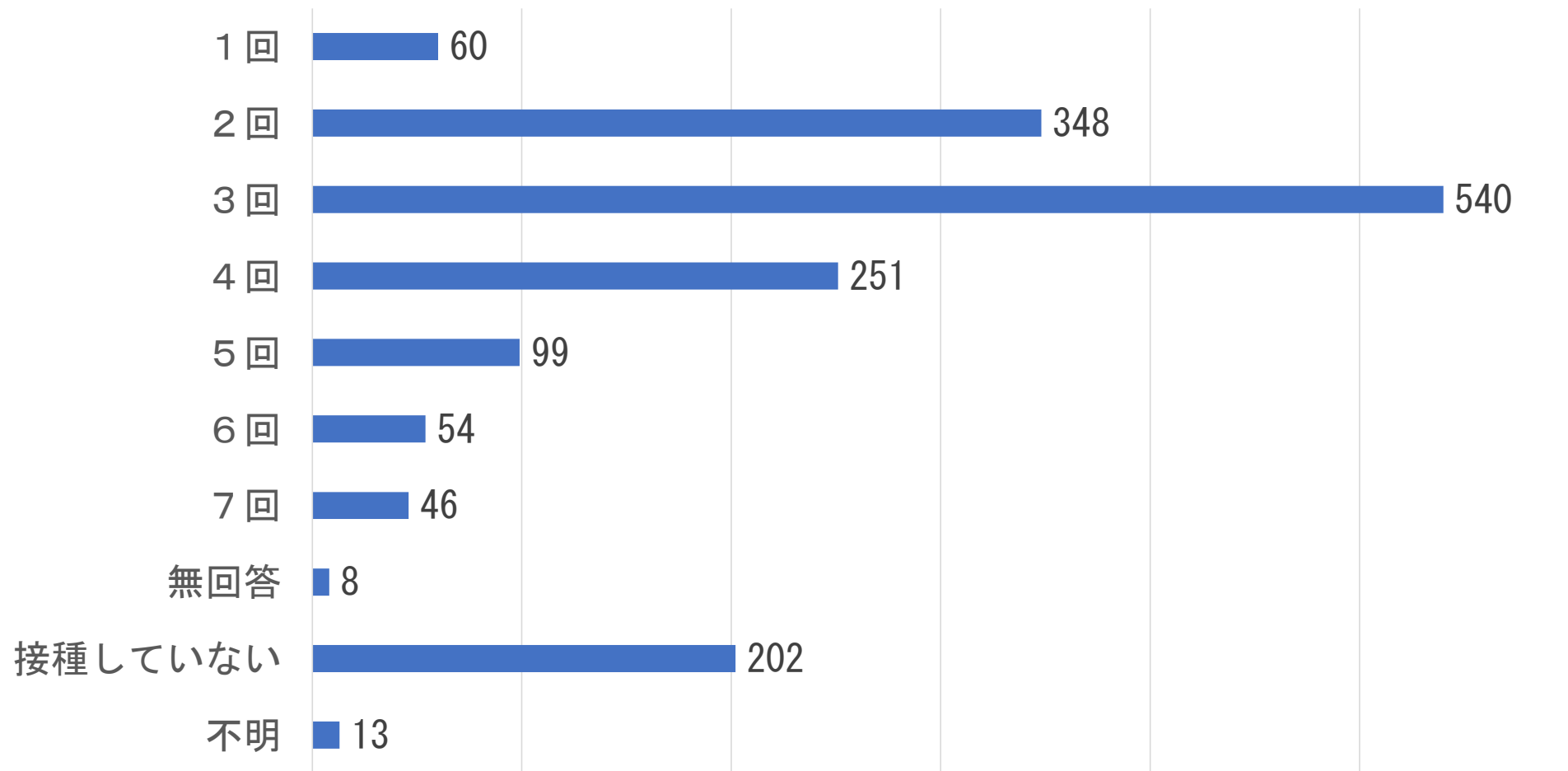
問9 問8の感染時には、どのように生活していましたか？

(n=1,621)

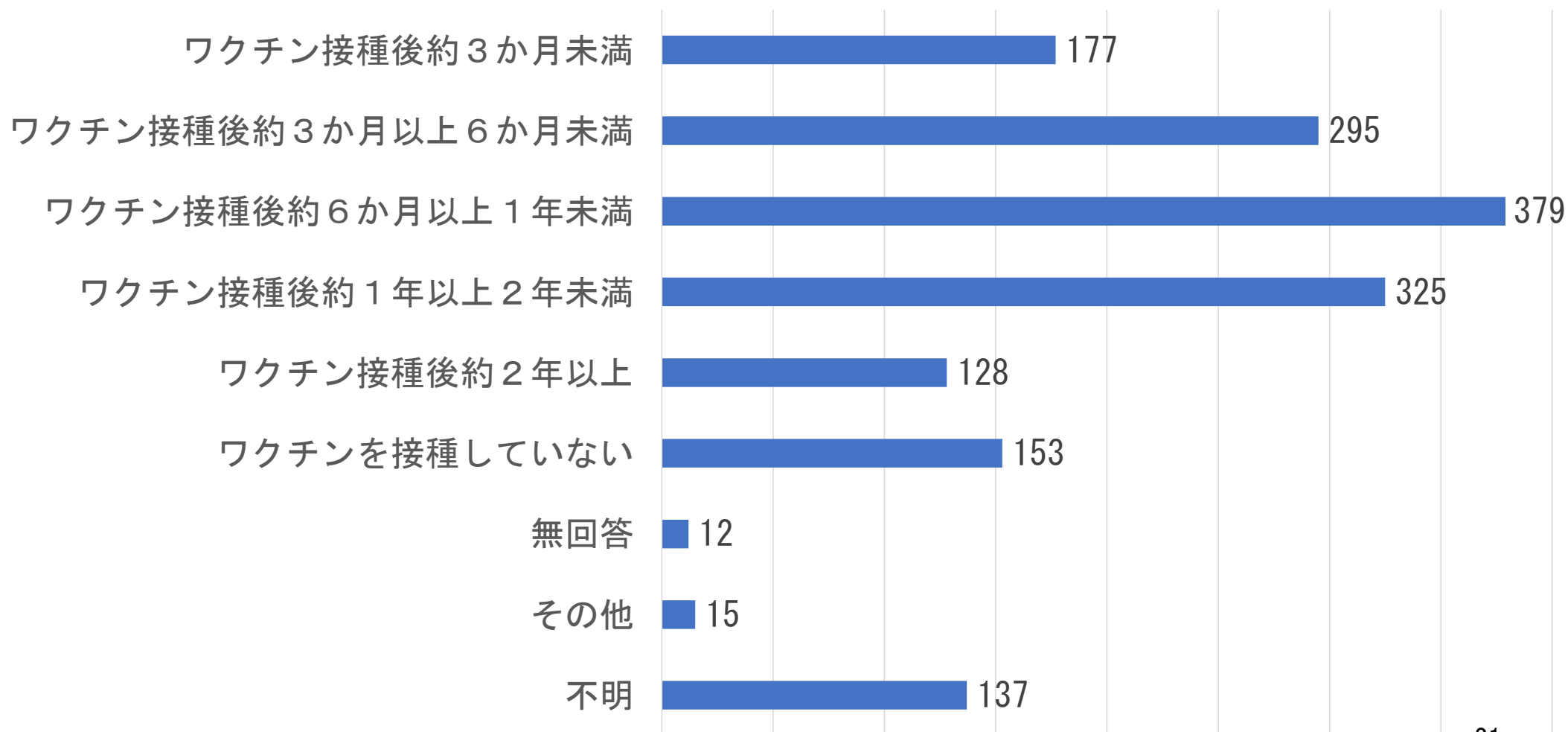


- 症状はほとんど(まったく)なく、平常時と同じ生活ができた
- 症状はあったが、日常生活はできた
- 症状がひどく、日常生活を送ることは困難だった
- その他
- 無回答

問10 問8の感染時において、新型コロナウイルスワクチンは、何回接種していましたか？ (n=1,621)

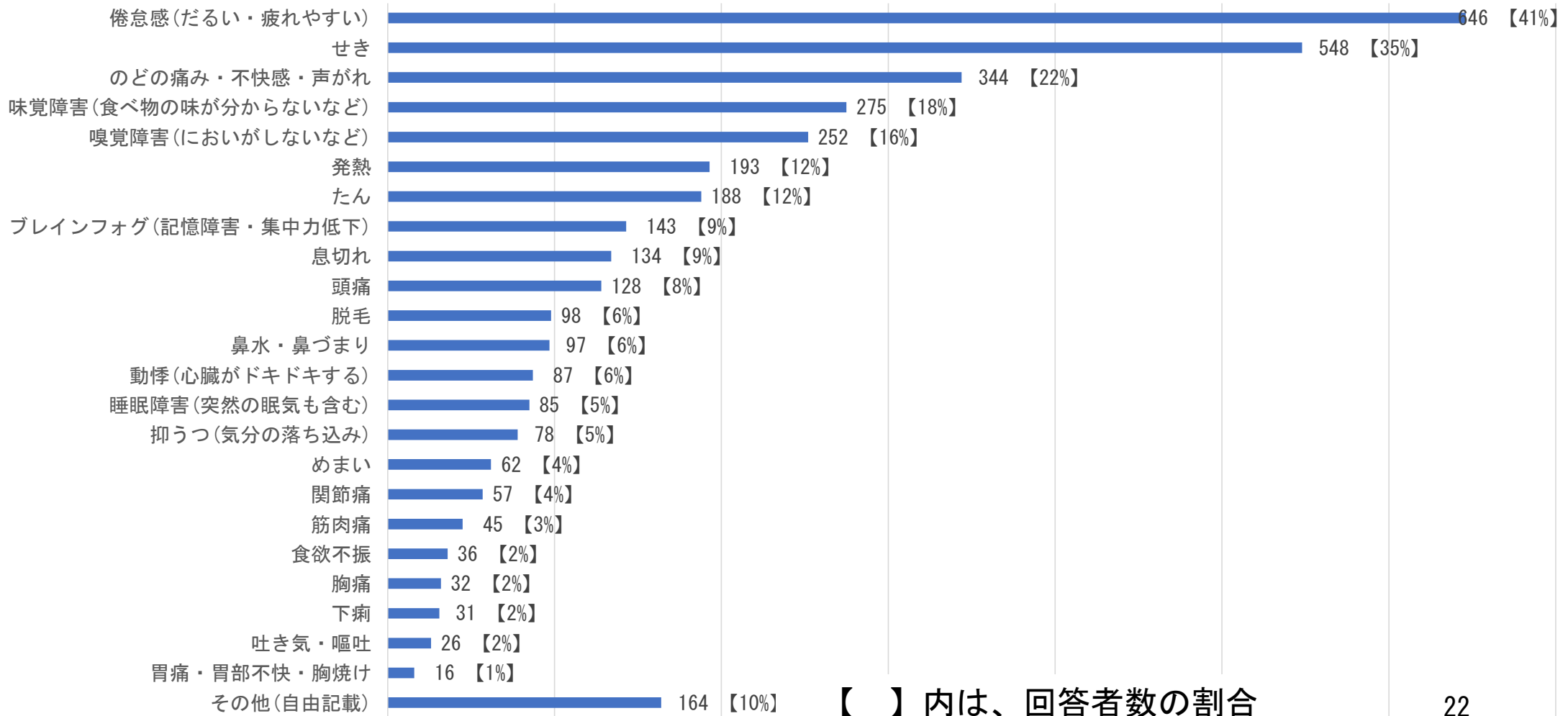


問11 問8の後遺症の経験は、直近の新型コロナワクチン接種からどのくらい経過していましたか？ (n=1,621)



問12 新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状について、
特に強く出た（出ている）症状を3つまで選択してください。

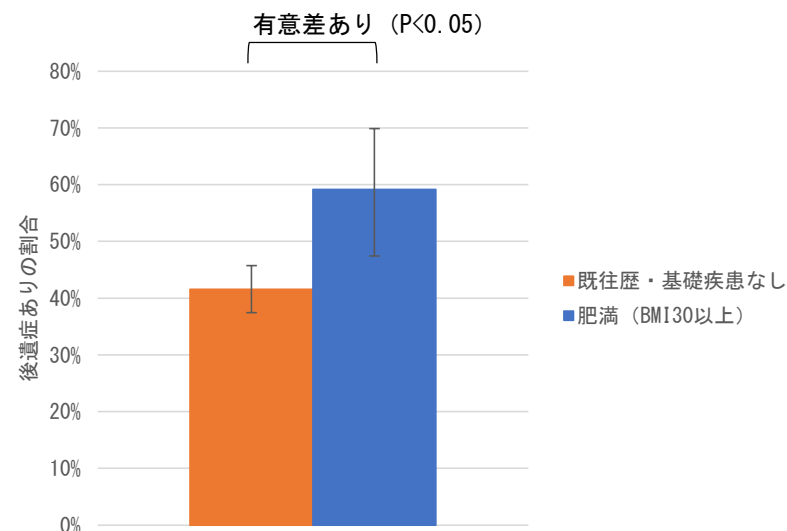
回答者数:1,565
(総回答数:3,765)



問12×基本情報（既往歴・基礎疾患（男性））

既往歴・基礎疾患内訳（総回答数1,393）

高血圧	290
脂質異常症	148
糖尿病	108
肥満(BMI※30以上)	71
慢性の呼吸器の病気	48
精神疾患	47
慢性の心臓病	37
慢性の腎臓病	17
脳血管疾患	15
慢性の肝臓病(肝硬変等)	14
悪性腫瘍	10
膠原病(リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎等)	10
血液の病気	5
免疫不全	3
答えたくない	33
既往歴なし	537



	後遺症あり	後遺症なし	後遺症ありの割合
既往歴・基礎疾患なし	223	314	41.53%
肥満 (BMI30以上)	42	29	59.15%

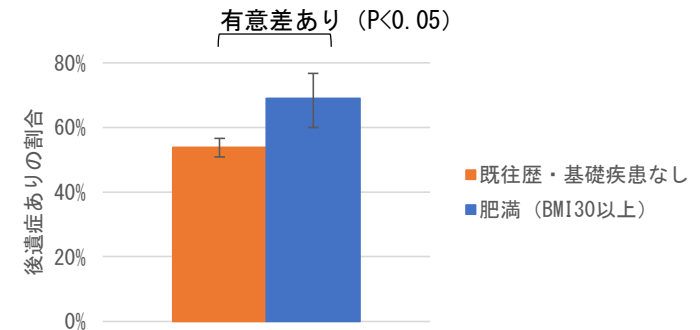
既往歴・基礎疾患に肥満（BMI30以上）がある男性は、特に強い後遺症がある（あった）割合が有意に高い。

問12×基本情報（既往歴・基礎疾患（女性））

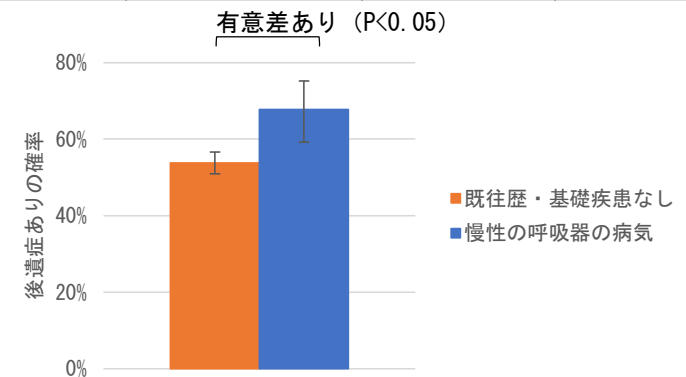
既往歴・基礎疾患内訳（総回答数2,180）

高血圧	228
脂質異常症	174
慢性の呼吸器の病気	130
肥満(BMI※30以上)	116
精神疾患	85
糖尿病	62
悪性腫瘍	49
膠原病(リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎等)	46
慢性の心臓病	24
慢性の腎臓病	15
免疫不全	14
血液の病気	13
脳血管疾患	10
慢性の肝臓病(肝硬変等)	6
遺伝性疾患	3
答えたくない	32
既往歴なし	1173

既往歴・基礎疾患に肥満（BMI30以上）、慢性の呼吸器の病気がある女性は、特に強い後遺症がある（あった）割合が有意に高い。



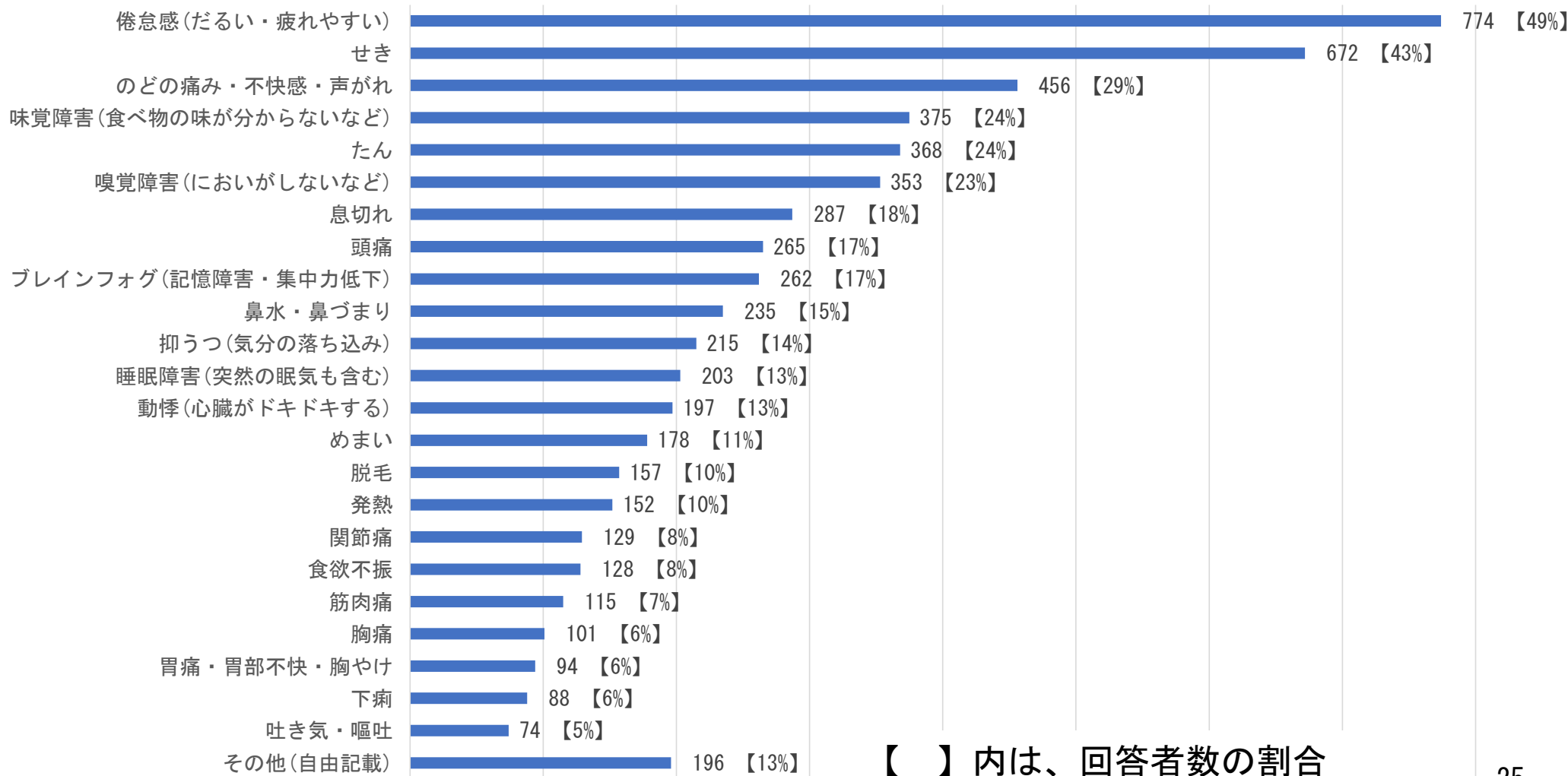
	後遺症あり	後遺症なし	後遺症ありの割合
既往歴・基礎疾患なし	631	542	53.79%
肥満 (BMI30以上)	80	36	68.97%



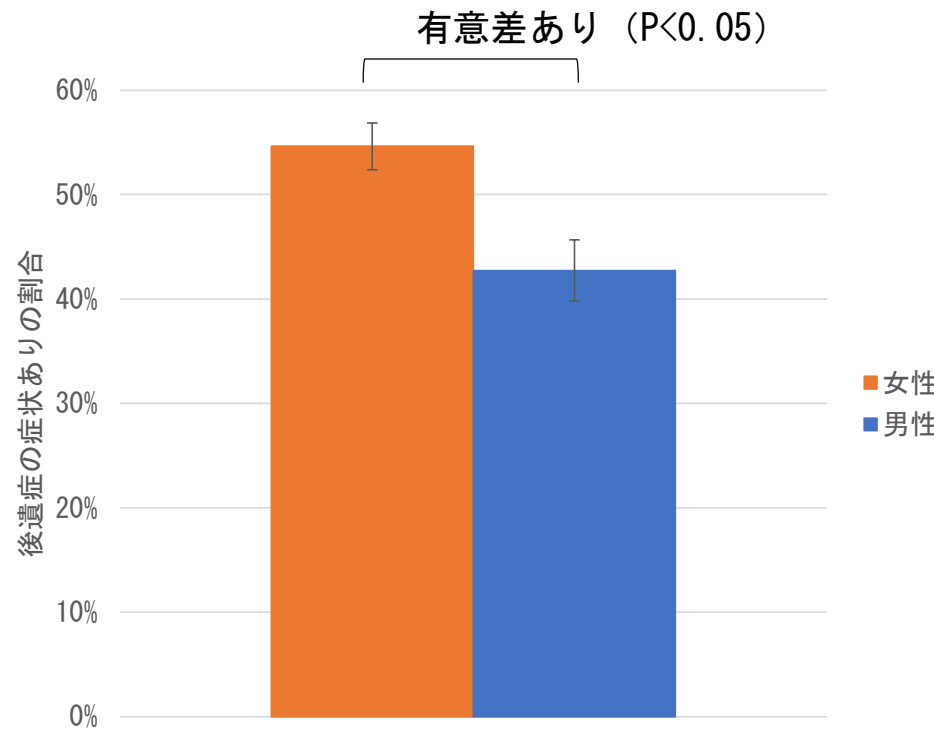
	後遺症あり	後遺症なし	後遺症ありの割合
既往歴・基礎疾患なし	631	542	53.79%
慢性の呼吸器の病気	88	42	67.69%

問13 新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状について、
該当するものをすべて選択してください。（複数回答可）

回答者数:1,565
(総回答数:6,074)



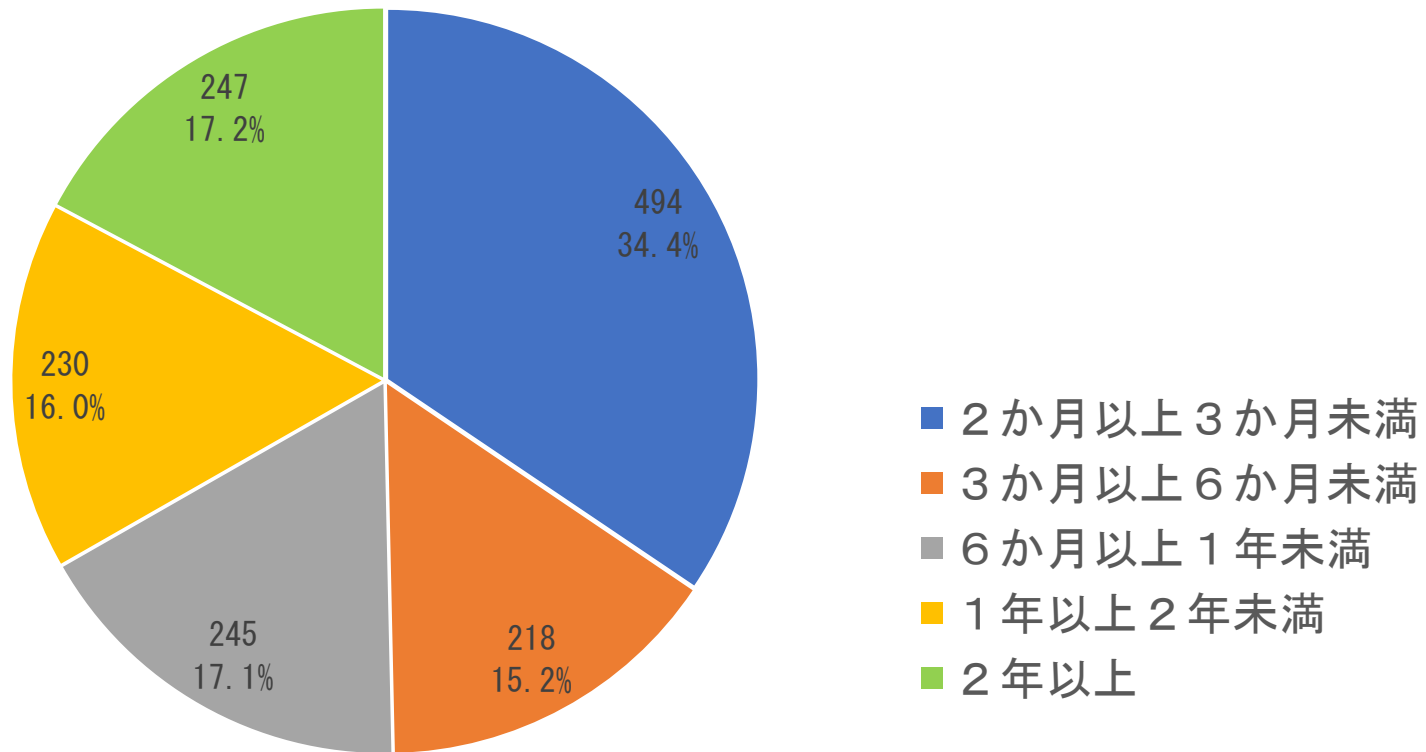
問13×基本情報（性別）



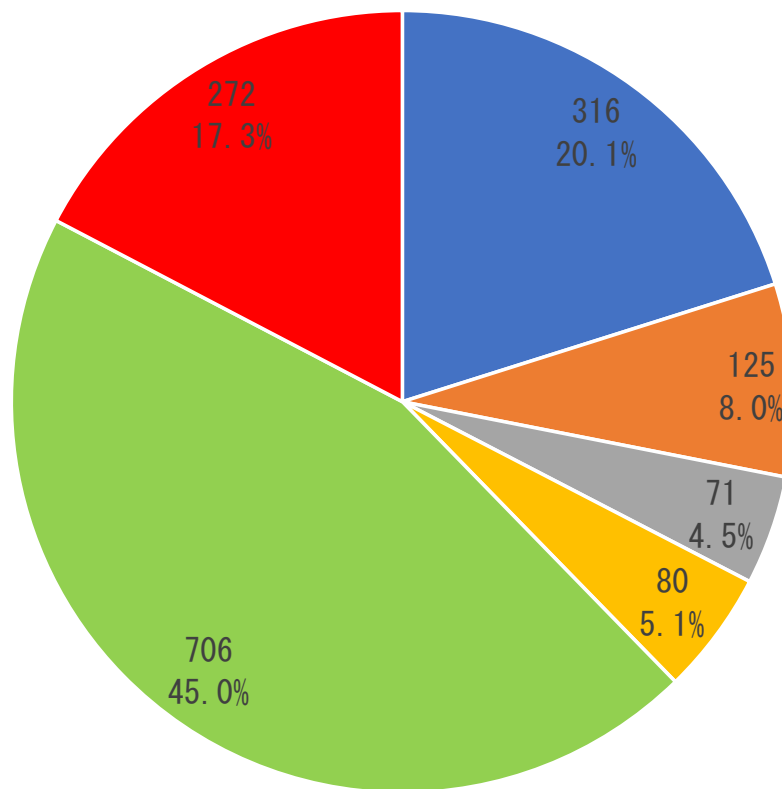
男性より女性の方が後遺症を発症する割合が有意に高い。

	後遺症の症状あり	後遺症の症状なし	後遺症の症状ありの割合
女性	1,032	857	54.63%
男性	470	630	42.73%

問14 新型コロナウイルス感染症の後遺症は、どれくらいの期間続いていましたか？（又は続いていますか？）（n = 1, 434）



問15 新型コロナウイルス感染症の後遺症によって、
社会生活に影響はありましたか？（現在も続いで
いますか？）（n=1,570）



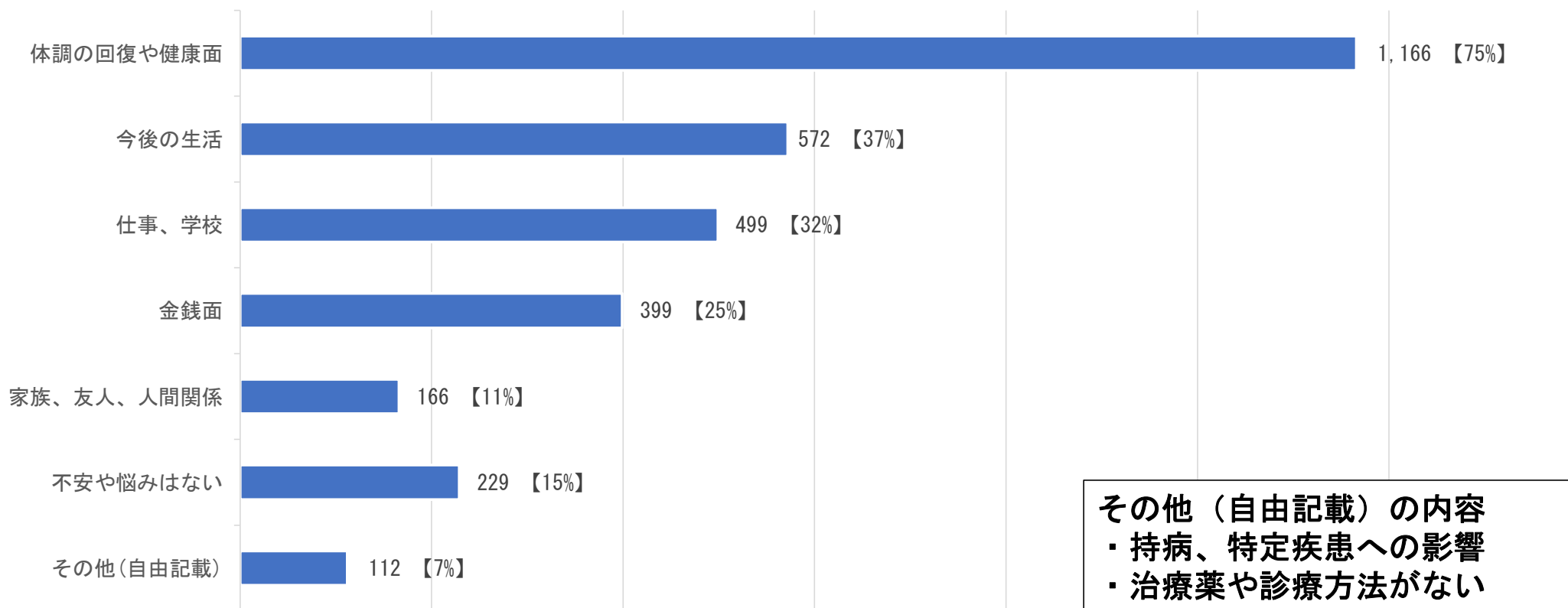
- 仕事や学校を数日休んだ
- 仕事や学校を1週間以上1か月未満休んだ
- 仕事や学校を1か月以上休んだ
- 仕事や学校を辞めた
- 影響はなかった
- その他(自由記載)

その他（自由記載）の内容

- ・ 休みたくても休めなかった
- ・ 趣味を辞めた
- ・ 学校に出席できず留年した
- ・ 味や臭いがわからず不安だった 等

回答者数:1,565
(総回答数:3,143)

問16 新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する不安や悩みで該当するものをすべて選択してください。(複数回答可)

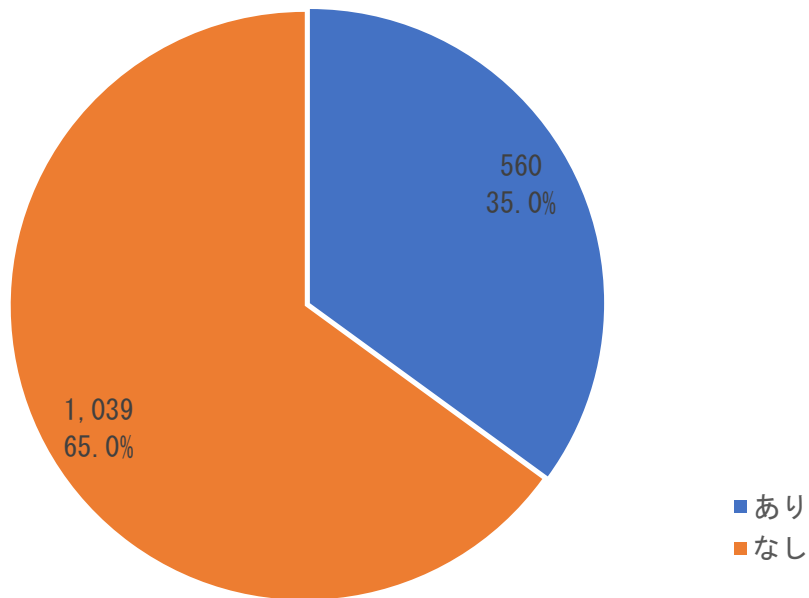


その他(自由記載)の内容
・ 持病、特定疾患への影響
・ 治療薬や診療方法がない
・ 後遺症悪化の懸念 等

【 】内は、回答者数の割合

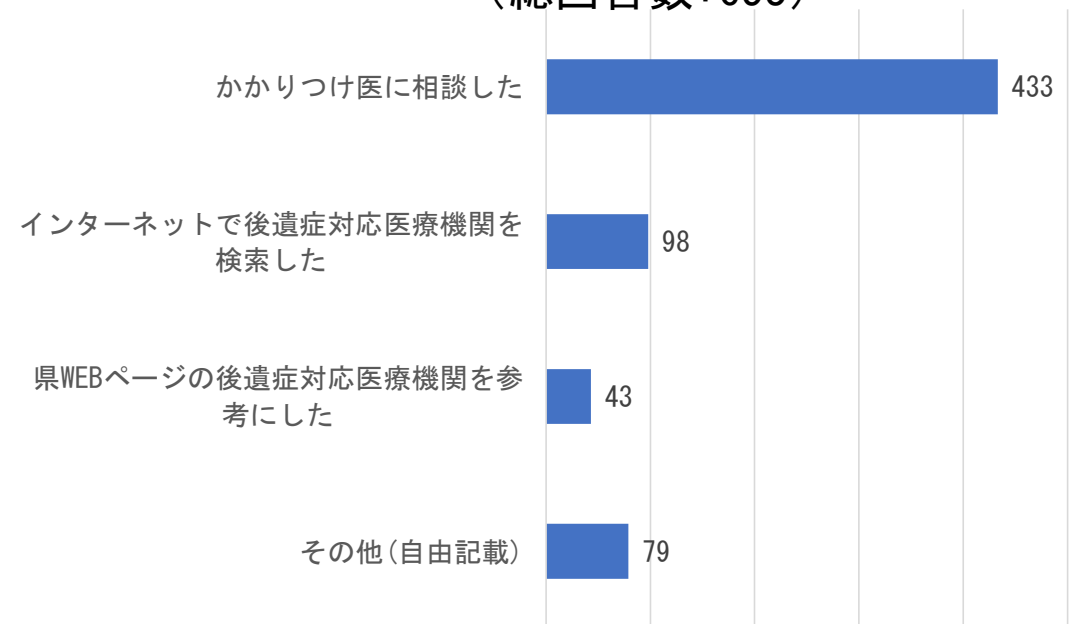
問17 医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症の後遺症の相談・治療をしたことがありますか？

(n = 1, 599)



問18 受診する医療機関はどのように探しましたか？
(複数回答可)

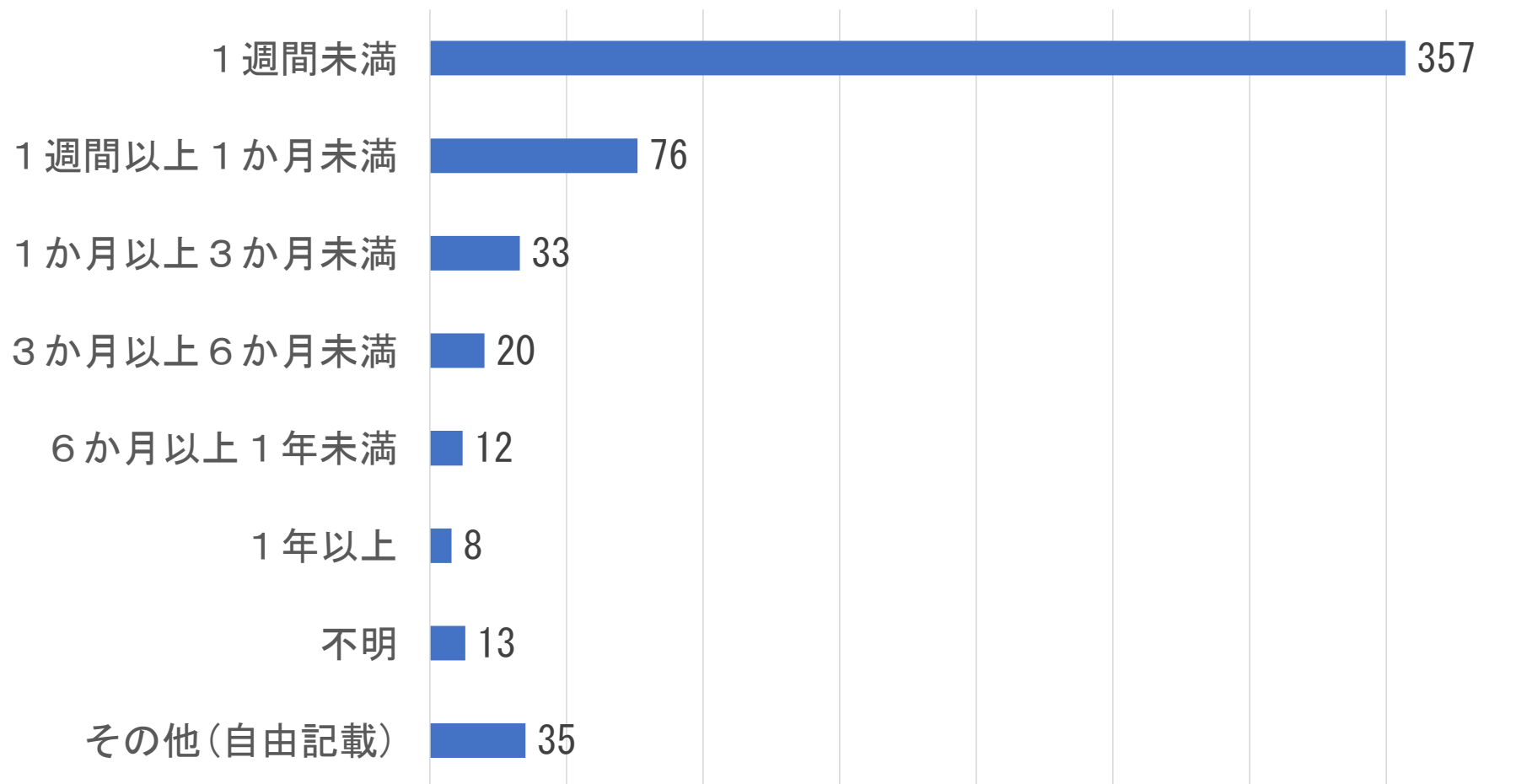
(総回答数: 653)



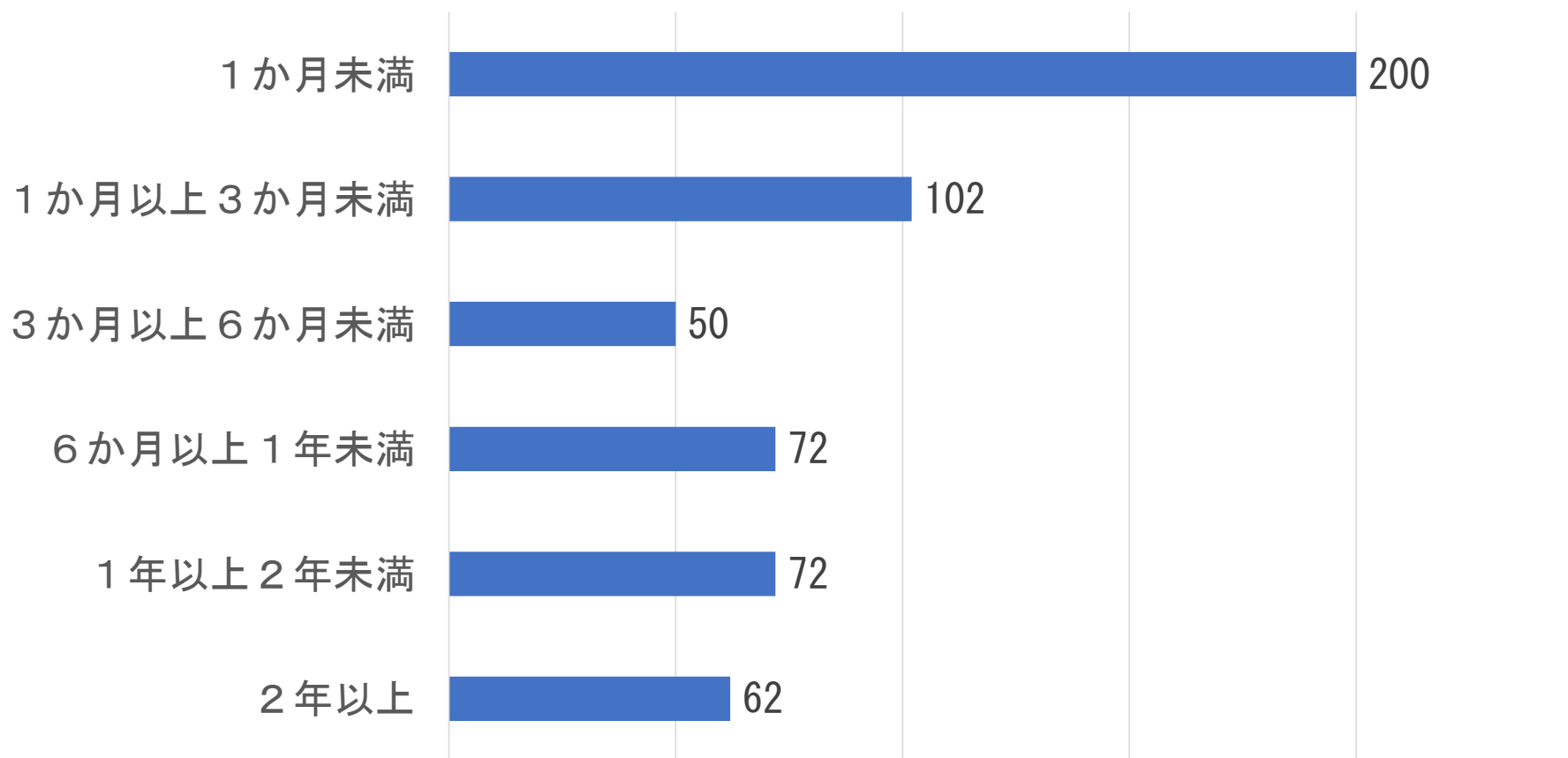
その他(自由記載)の内容

- ・ 報道で知った
- ・ 友人に聞いた
- ・ 薬局で聞いた 等

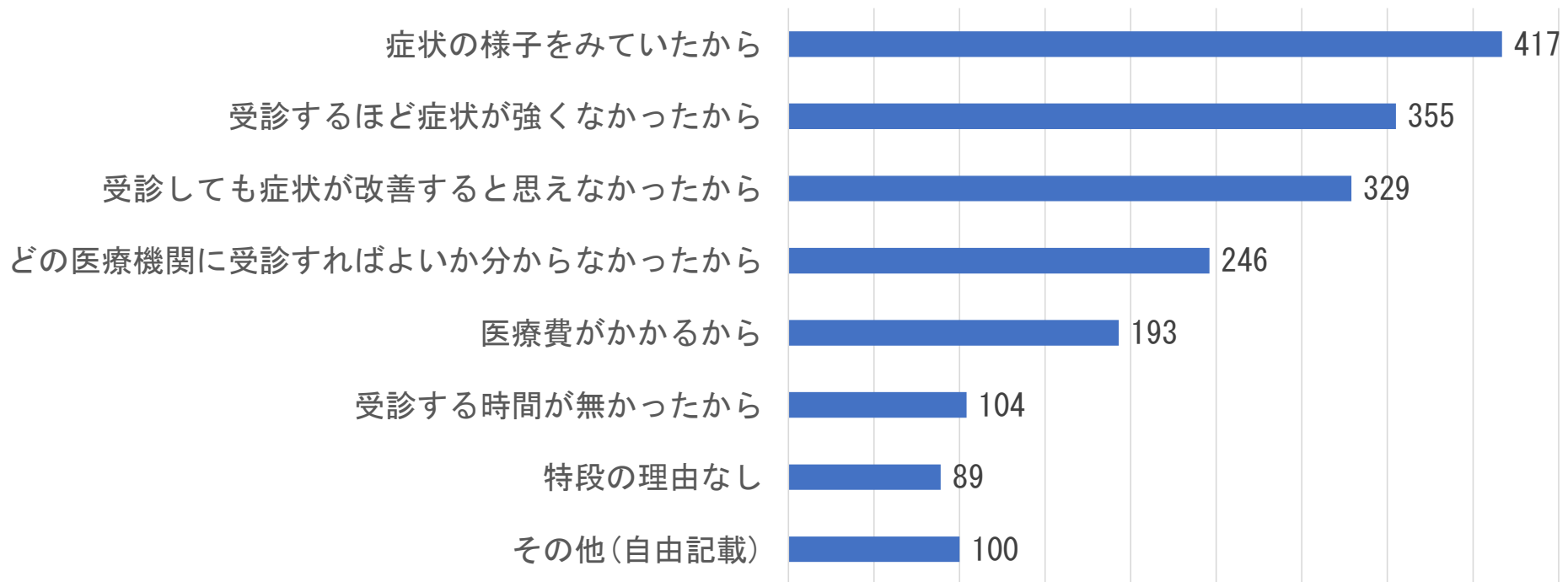
問19 受診する医療機関を探すのにどのくらいかかりましたか？ (n=554)



問20 新型コロナウイルス感染症の後遺症の相談・
治療のための通院期間はどの程度ですか？ (n=558)



問21 問17で「なし」と回答した方にのみお尋ねします。（総回答数:1,833）
医療機関を受診しなかったのはなぜですか？（複数回答可）



その他（自由記載）の内容

- ・定期的に医療機関を受診しているから
- ・予約や検温、待ち時間が増加し、受診が気軽でなくなったから
- ・受診するほどのことでもないと思ったから 等

(3) 調査結果まとめ (県民向け)

1. 後遺症の経験者

回答のあった3,037人のうち、新型コロナウイルスに1回でも感染した経験があるとの回答が、2,600人(約86%)であった。

このうち、後遺症を経験しているとの回答は、1,565人であり、感染者の約60%が後遺症を経験していることとなる。

これは、「感染症のうち、10~20%が後遺症を発症する」としている世界保健機関(WHO)のこれまでの蓄積されたデータよりも大きく上回っている。

今回の調査は、対象者を後遺症の有無に係わらず、誰でも回答できるアンケートによる手法で実施したことから、後遺症のある方が回答する割合が高くなる傾向が生じたものと推察される。

なお、後遺症の経験者を性別で比較したところ、男性より女性の方が後遺症を発症する割合が統計的に高い結果となった。

2. 後遺症の症状の傾向

症状の傾向としては、特に強く出た(出ている)「3つの症状」及び「該当する全ての症状」ともに、「倦怠感」、「せき」、「のどの痛み・不快感・声がれ」、「味覚障害」の順番が多かったが、「関節痛」や「筋肉痛」などの全身症状及び「脱毛」などの皮膚症状など様々な症状について回答がみられた。

なお、特に強く出た(出ている)症状と既往歴・基礎疾患を比較したところ、肥満(BMI30以上)は、後遺症を発症する割合が男女ともに、統計的に高い結果となった。

3. 後遺症の継続期間

症状の継続期間は、回答のあった1,434のうち、「2か月以上3か月未満」と「3か月以上6か月未満」をあわせて、712（約50%）であった。

これは、新型コロナウイルス感染時期について、回答のあった3,011のうち、「2024年1月～6月」が730（約24%）で最も多いことが影響していると推察される。

なお、「1年以上2年未満」と「2年以上」をあわせて477の回答があり、症状が1年以上継続する事例も約33%みられた。

4. 後遺症による社会生活への影響

社会生活への影響は、回答のあった1,570のうち、「影響なし」が706（約45%）で最も多かったが、「仕事や学校を休んだ」と「仕事や学校を辞めた」の回答を合計すると、592（約38%）となり、社会生活に影響があった回答も少なからずみられた。

なお、その他の意見として、「休みたくても休めなかった」などの意見があり、社会での後遺症の理解が進んでいないことが推察された。

5. 後遺症に対する不安や悩み

後遺症を経験している1,565人のうち、「体調の回復や健康面」の回答が1,166あり、約75%と最も多かった。

4 医療機関向け調査

目的	新型コロナウイルス感染症の罹患後症状の外来対応の実態を把握するため
対象者	全ての県内医療機関（約5,100）
調査方法	愛知県電子申請・届出システム（Webフォーム）
調査期間	2024年6月26日（水）～7月26日（金）
回答数	509医療機関

(1) アンケート内容

基本情報	医療機関名、医療機関の所在地、連絡先（TEL）、メール、所属・回答者
問 1	本県では新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関を県Webページに掲載しています。貴院は当該県Webページの医療機関一覧表に掲載されていますか。
問 2	問 1において「掲載されていない」を選択した医療機関にお尋ねします。その理由をお聞かせください。
問 3	これまでに診療したコロナ罹患後症状の患者の累計人数（概算値）を御回答ください。
問 4	コロナ罹患後症状の患者の受診契機について御回答ください。（複数回答可）
問 5	コロナ罹患後症状の患者からの訴えが多い症状を御回答ください。（複数回答可）
問 6	貴院で対応可能なコロナ罹患後症状を御回答ください。（複数回答可）
問 7	現在のコロナ罹患後症状の患者への対応内容について御回答ください。（複数回答可）
問 8	問 7において「自院で対応」、「かかりつけ患者のみ自院で対応」を選択した医療機関にお尋ねします。どのような診療を実施していますか。（複数回答可）
問 9	問 7において「他の医療機関を紹介」を選択した医療機関にお尋ねします。どのような医療機関を紹介しましたか。（複数回答可）
問10	問 7において「他の医療機関を紹介」を選択した医療機関にお尋ねします。その理由をお聞かせください。（複数回答可）
問11	コロナ罹患後症状を診療するうえで、課題だと思われるものを御回答ください。（複数回答可）

(問 1 ~ 6)

基本情報

・医療機関名、医療機関の所在地、連絡先
(TEL)、メール、所属・回答者

問1：本県では新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関を県Webページに掲載しています。貴院は当該県Webページの医療機関一覧表に掲載されていますか。

掲載されている

掲載されていない

問2：問1において「掲載されていない」を選択した医療機関にお尋ねします。その理由をお聞かせください。

コロナ罹患後症状に対応しているが、県WEBページの存在を知らなかったから

コロナ罹患後症状に対応し、県WEBページの存在を知っているが、掲載不要と考えているから

コロナ罹患後症状に対応しておらず、県WEBページの存在を知らなかったから

県WEBページを知っているが、コロナ罹患後症状に対応していないから

問3：これまでに診療したコロナ罹患後症状の患者の累計人数（概算値）を御回答ください。

0人 1人以上10人未満 10人以上50人未満 50人以上100人未満

100人以上500人未満 500人以上1,000人未満 1,000人以上

問4：コロナ罹患後症状の患者の受診契機について御回答ください。（複数回答可）

直接来院

他医療機関からの紹介

その他（自由記載）

問5：コロナ罹患後症状の患者からの訴えが多い症状を御回答ください。（複数回答可）

発熱 倦怠感（だるい・疲れやすい） せき

たん のどの痛み・不快感・声がれ

頭痛 鼻水・鼻づまり

味覚障害（食べ物の味が分からないなど）

嗅覚障害（においがしないなど） 胃痛・胃部不快・胸焼け

吐き気・嘔吐 下痢 睡眠障害（突然の眠気も含む） めまい

食欲不振

関節痛 筋肉痛 胸痛 息切れ 動悸（心臓がドキドキする）

脱毛 抑うつ（気分の落ち込み） ブレインフォグ（記憶障害・集中力低下） 診察したことがない その他（自由記載）

問6：貴院で対応可能なコロナ罹患後症状を御回答ください。（複数回答可）

呼吸器症状

循環器症状

嗅覚・味覚症状

神経症状

精神症状

痛みなどの全身症状

皮膚症状

その他（自由記載）

問7へ（次頁へ）

(問7～11)

問7：現在のコロナ罹患後症状の患者への対応内容について御回答ください。(複数回答可)

- 自院で対応
- かかりつけ患者のみ自院で対応
- 他の医療機関を紹介
- その他(自由記載)

問8：問7において「自院で対応」、「かかりつけ患者のみ自院で対応」を選択した医療機関にお尋ねします。どのような診療を実施していますか。(複数回答可)

- 予後や今後の経過について
- 生活指導(食事、リハビリなど)
- 症状に応じた薬物療法
- その他(自由記載)

問9：問7において「他の医療機関を紹介」を選択した医療機関にお尋ねします。どのような医療機関を紹介しましたか。(複数回答可)

- 地域の別の医療機関
- 県WEBページに掲載されている罹患後症状診療医療機関
- その他(自由記載)

問10：問7において「他の医療機関を紹介」を選択した医療機関にお尋ねします。その理由をお聞かせください。(複数回答可)

- 専門的な治療を要する症状ではなかったから(かかりつけ医の対応でも可能であったから)
- 自院で対応できない症状だったから
- 他疾患との鑑別が必要であったから
- 多くの患者をかかえており、コロナの罹患後症状患者に対応する余裕がなかったから
- その他(自由記載)

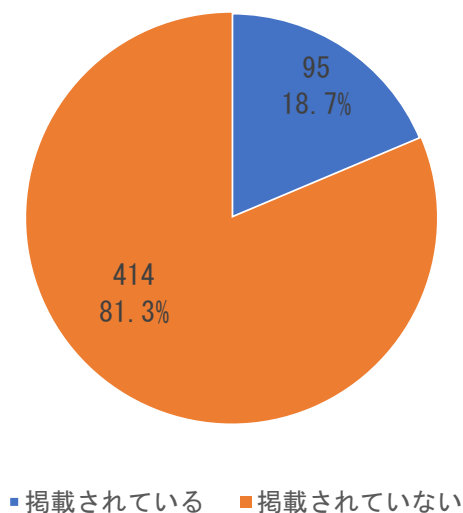
問11：コロナ罹患後症状を診療するうえで、課題だと思われるものを御回答ください。(複数回答可)

- 診療や治療方法が確立されていないこと
- 診療報酬が少ないこと
- 社会での罹患後症状への理解が進んでいないこと
- 一部の医療機関又は一部の医師に罹患後症状の患者が集中していること
- その他(自由記載)

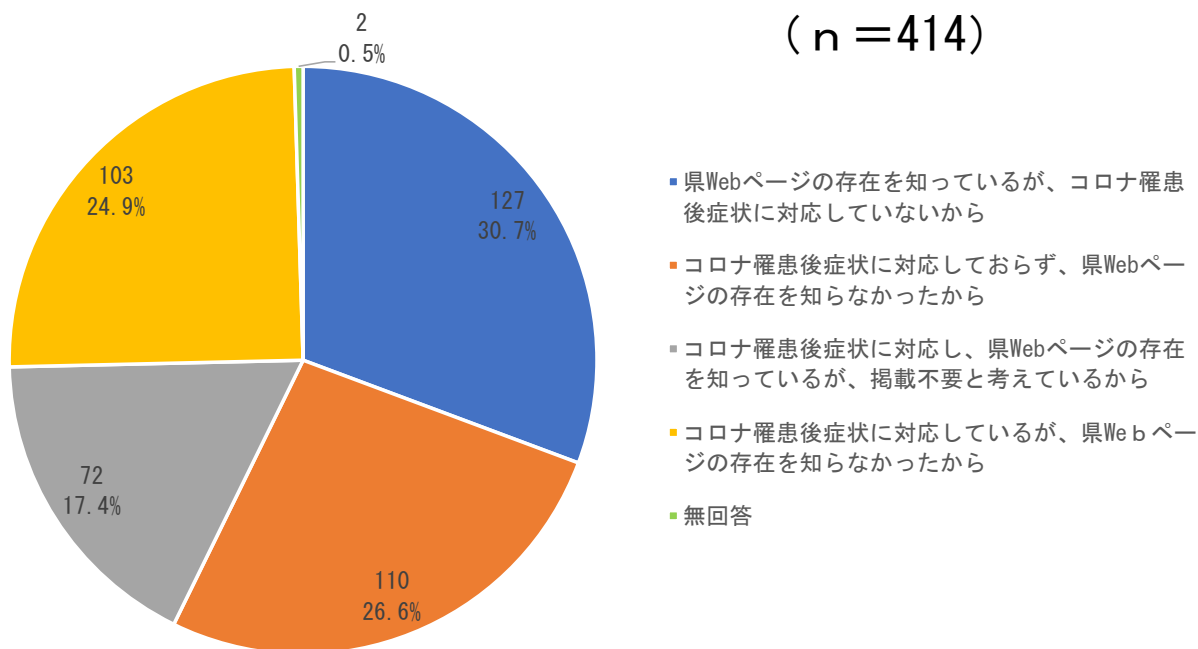
回答終了

(2) 調査結果

問1 本県では新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む方の診療をしている医療機関を県Webページに掲載しています。貴院は当該県Webページの医療機関一覧表※に掲載されていますか。(n=509)

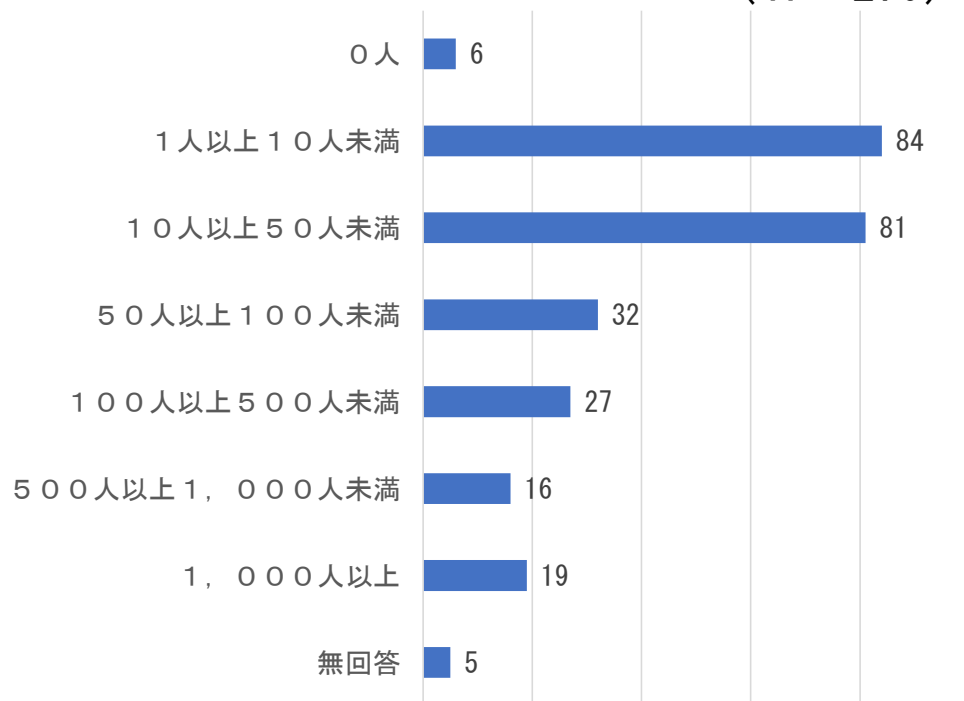


問2 問1において「掲載されていない」を選択した医療機関にお尋ねします。その理由をお聞かせください。(n=414)

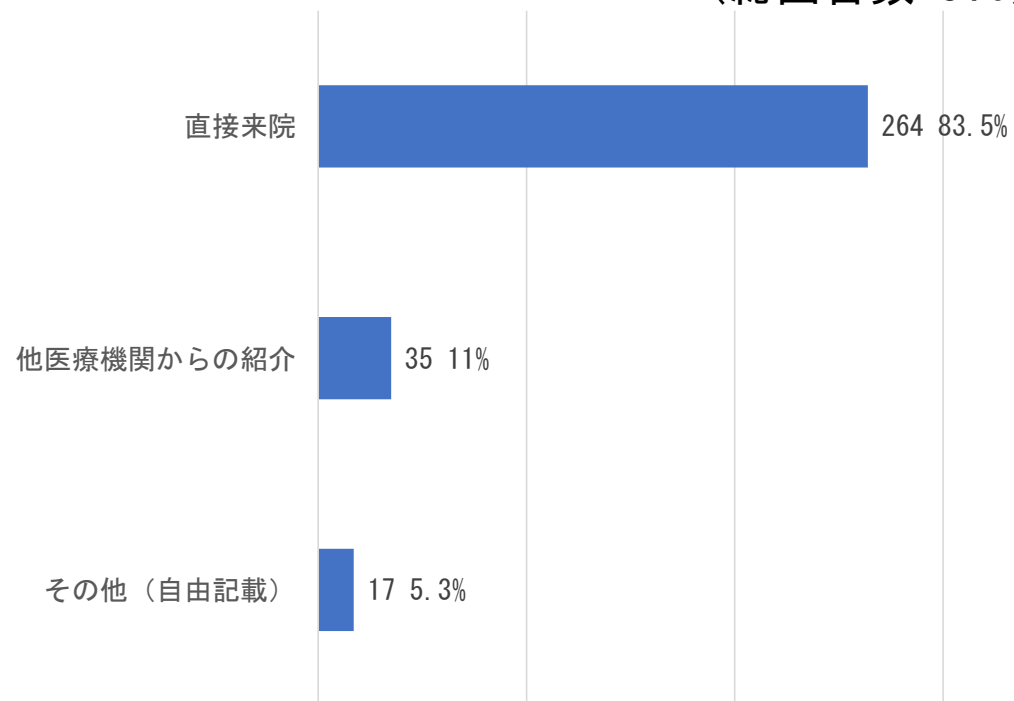


※2024年11月19日現在、147機関を掲載

問3 これまでに診療したコロナ罹患後症状の患者の累計人数（概算値）を御回答ください。（n=270）

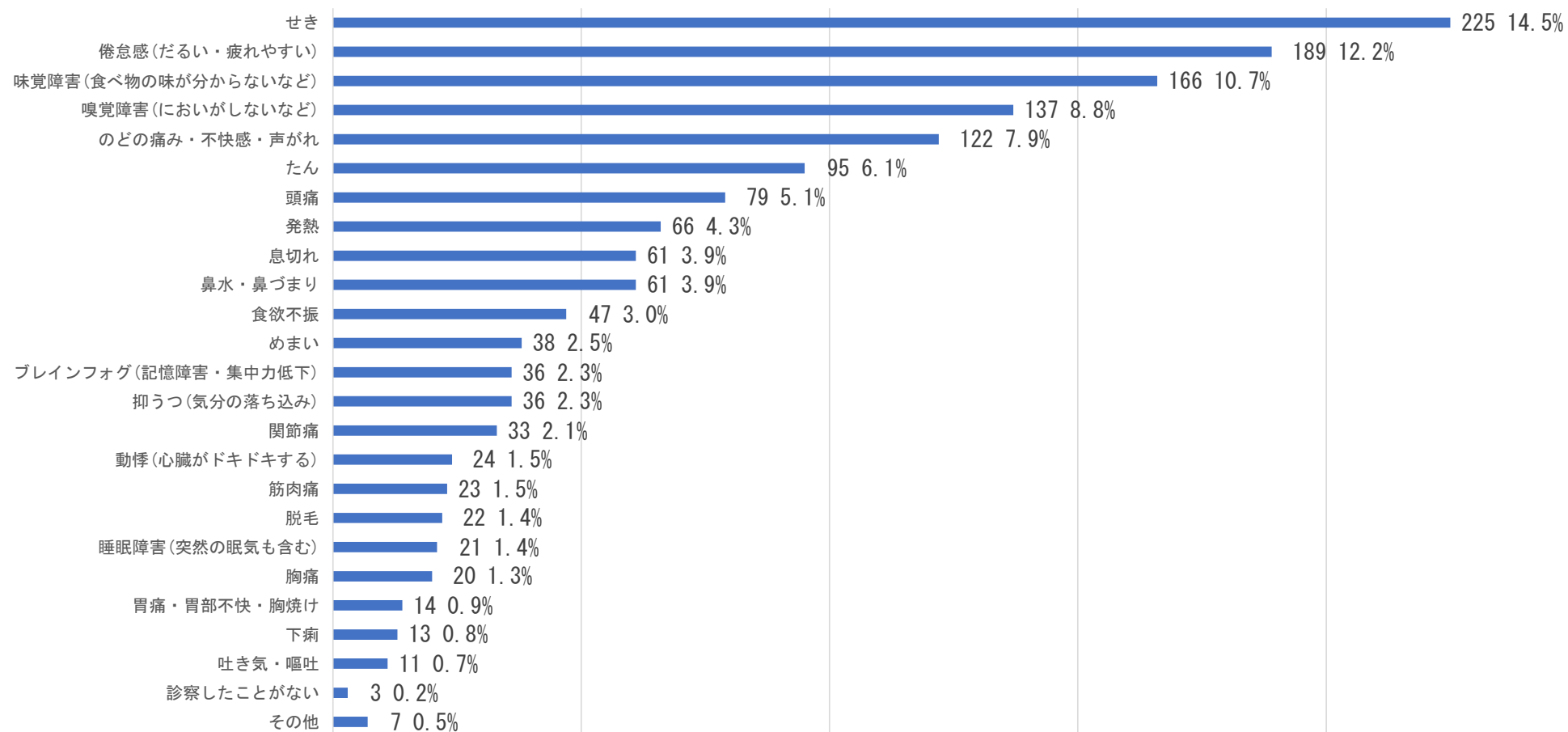


問4 コロナ罹患後症状の患者の受診契機について御回答ください。（複数回答可）（総回答数:316）

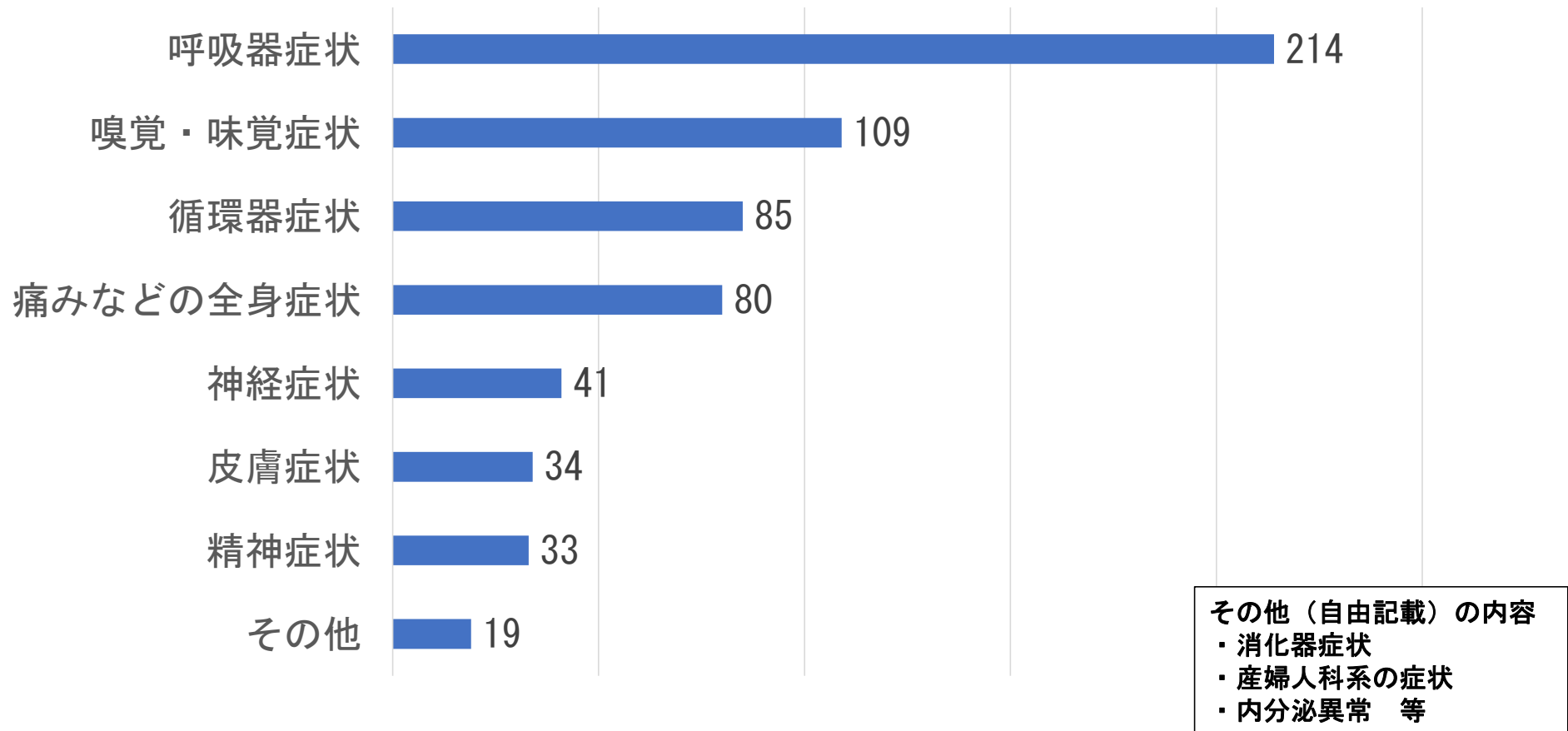


問5 コロナ罹患後症状の患者からの訴えが多い症状を御回答ください。
 (複数回答可)

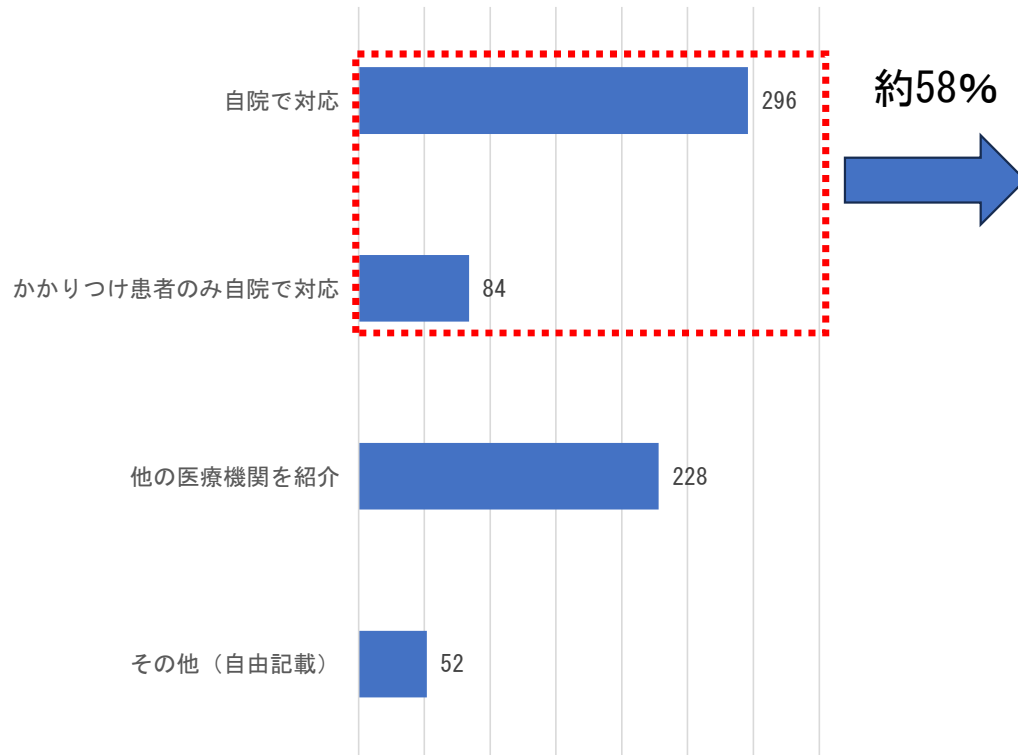
(総回答数:1,549)



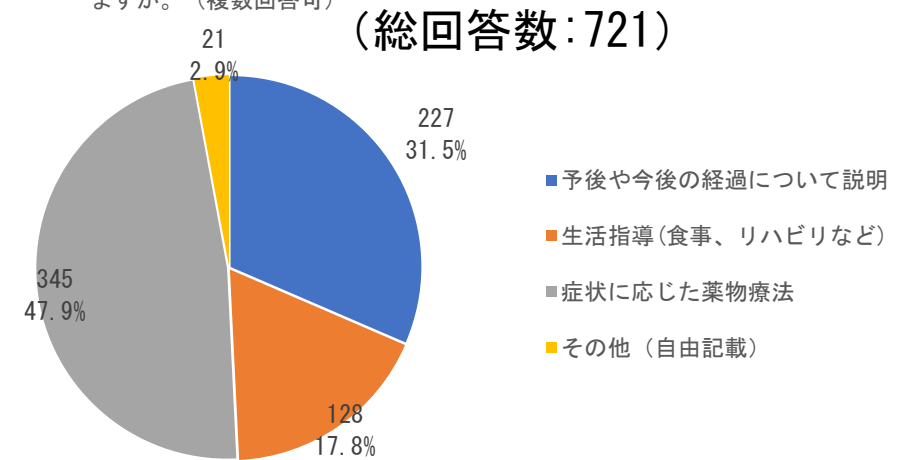
問6 貴院で対応可能なコロナ罹患後症状を御回答ください。(総回答数:615)
(複数回答可)



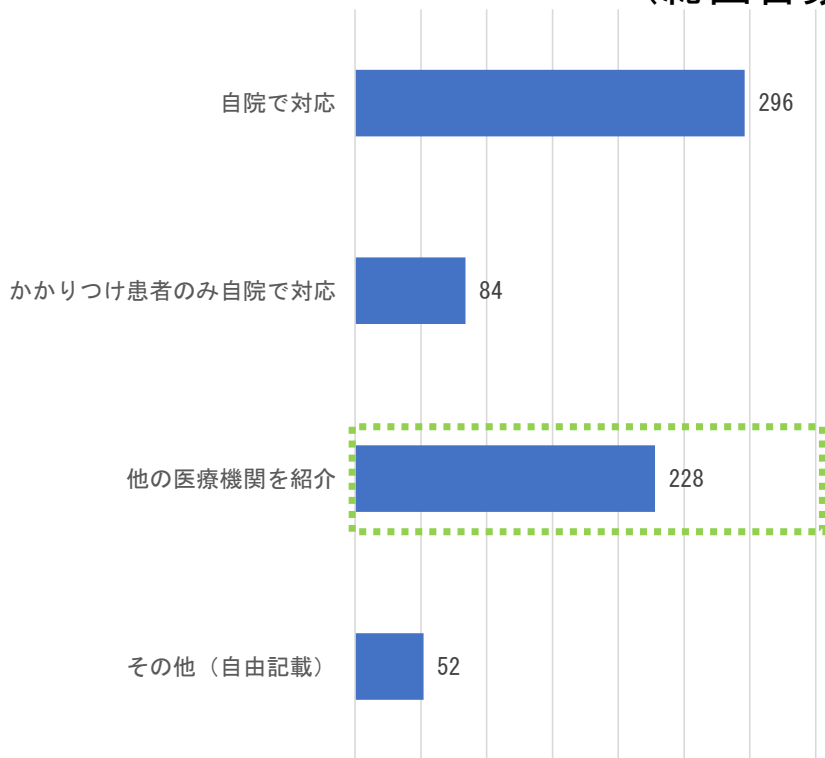
問7 現在のコロナ罹患後症状の患者への対応内容について御回答ください。(複数回答可) (総回答数:660)



問8 問7において「自院で対応」、「かかりつけ患者のみ自院で対応」を選択した医療機関にお尋ねします。どのような診療を実施していますか。(複数回答可)

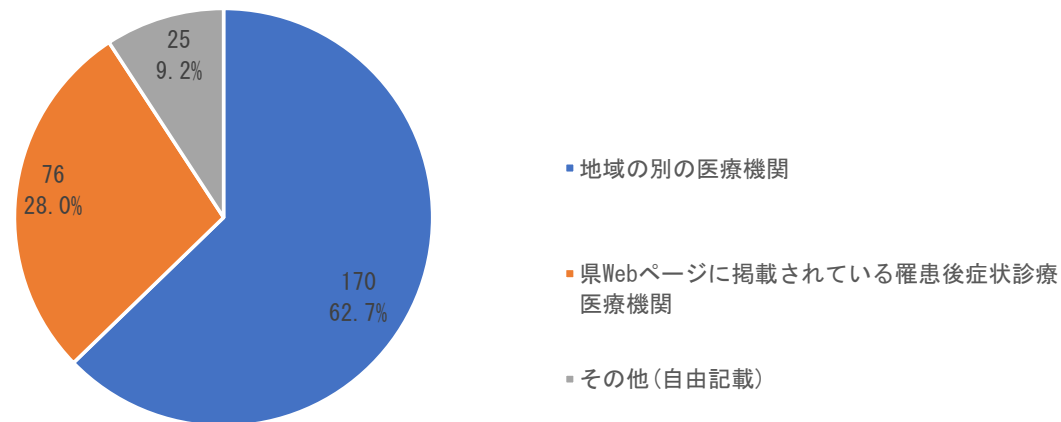


問7 現在のコロナ罹患後症状の患者への対応内容について御回答ください。(複数回答可) (総回答数:660)



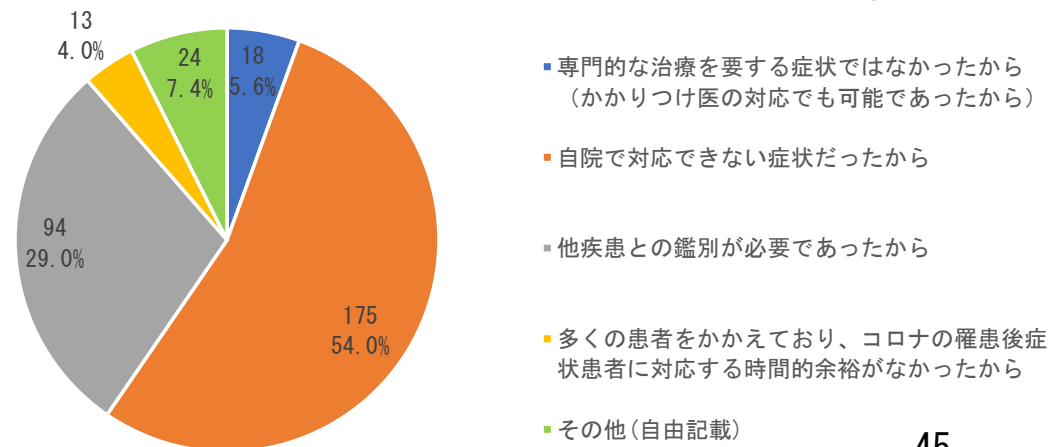
問9 問7において「他の医療機関を紹介」を選択した医療機関にお尋ねします。どのような医療機関を紹介しましたか。(複数回答可)

(総回答数:271)



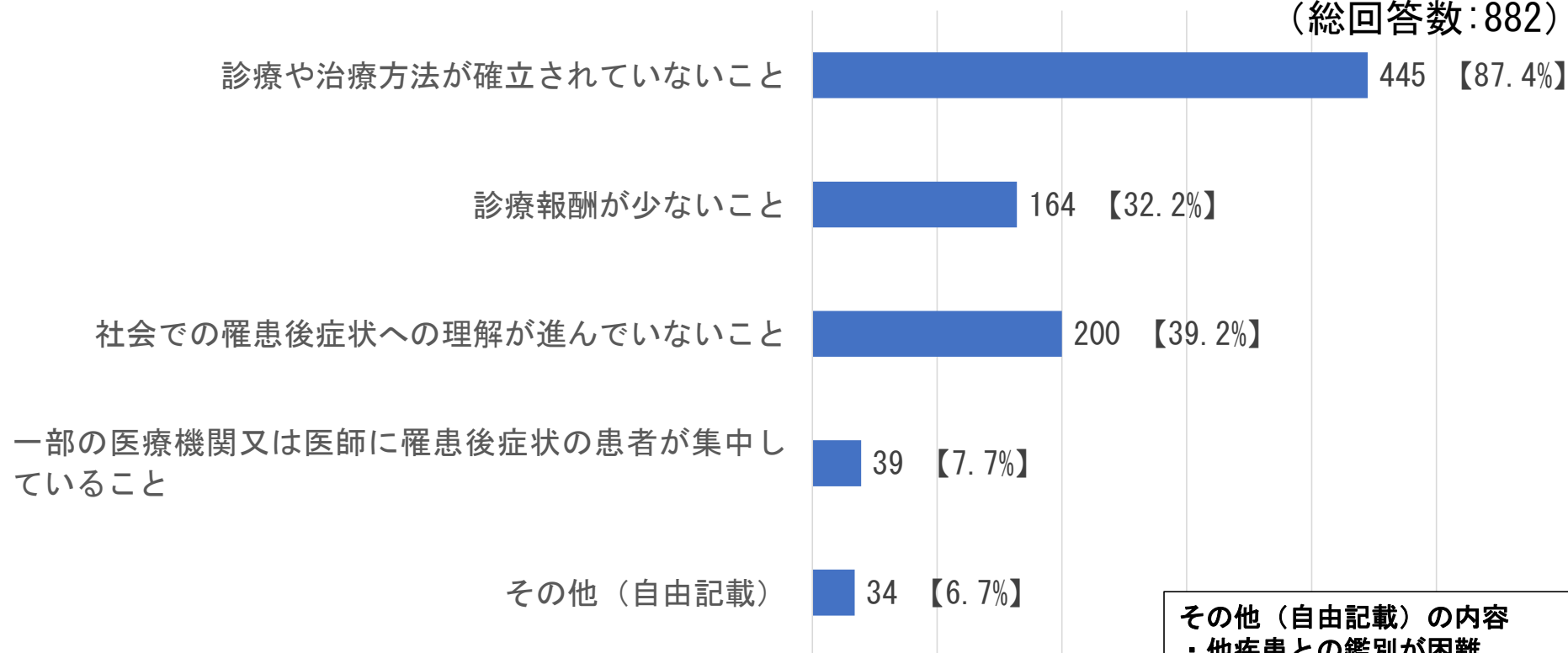
問10 問7において、「他の医療機関を紹介」を選択した医療機関にお尋ねします。その理由をお聞かせください。(複数回答可)

(総回答数:324)



問11 コロナ罹患後症状を診療するうえで、課題だと思われるものを御回答ください。（複数回答可）

回答機関数:509
(総回答数:882)



【 】内は、回答機関数の割合

その他（自由記載）の内容
・他疾患との鑑別が困難
・問診に時間がかかる
・患者に対する社会的サポート 等

(3) 調査結果まとめ（医療機関向け）

1. 後遺症の対応状況

回答のあった509医療機関のうち、県Webページ掲載医療機関は95（約19%）、非掲載の医療機関は414（約81%）であった。

非掲載の414医療機関のうち、後遺症外来を実施しているのは、県webページの掲載不要と考えている医療機関72（約17%）、県webページの存在を知らなかった医療機関103（約25%）となり、合わせて、175（約42%）であった。

2. 訴えの多い症状

回答のあった1,549のうち、「せき225（約15%）」、「倦怠感189（約12%）」、「味覚障害166（約11%）」、「嗅覚障害137（約9%）」、「のどの痛み・不快感・声がれ122（約8%）」の順番が多かった。

3. 受診の契機、患者への対応内容

受診の契機は、回答のあった316のうち、直接来院する場合は264（約84%）で最も多かった。

また、患者への対応は、回答のあった660のうち、かかりつけ患者も含めて「自院で対応する」が380（約58%）であり、診療内容は、回答のあった721のうち、「症状に応じた薬物療法」が345（約48%）で最も多かった。

4. 自院で対応できず、他の医療機関を紹介する理由

回答のあった324のうち、「自院で対応できない症状であったから」が175（約54%）と「他疾患との鑑別が必要であったから」が94（約29%）をあわせて80%以上を占めていた。

5. 後遺症の診察の課題

回答のあった509医療機関のうち、「診療や治療方法が確立されていない」が445（約87%）であり、次いで、「社会での後遺症の理解が進んでいない」が200（約39%）であった。

その他の意見として、「他疾患との鑑別が困難」、「問診に時間がかかる」などがあった。

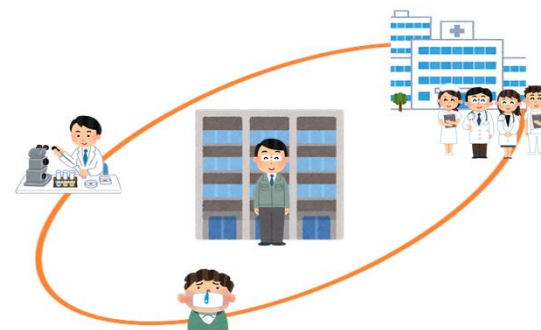
5 課題と今後の対応

1. 後遺症に関する知見

後遺症は、統計的に女性が発症する割合が高く、男女ともに肥満がリスクとなる傾向がみられたものの、症状は、倦怠感などの疲労感や、せき、息切れなどの呼吸器症状など様々で、症状の持続期間も人によって異なることから、病態については不明な点が多い。

現在、後遺症の治療方法や研究が国内外で進められ、厚生労働省からも後遺症に関する診療の手引きが公開されていることから、県としては、これらの積極的な情報収集に努め、医療機関に十分な情報提供を行うことで、幅広く対応できる体制を整えていく。

また、県民が受診しやすいよう後遺症対応医療機関のWeb掲載を進める。



2. 後遺症の社会生活への影響

後遺症に対する不安や悩みとして最も多かったのが、「体調の回復や健康面」についてであった。

また、現在の後遺症相談窓口においても、症状や治療等に関する相談が多く見受けられることから、県としては、様々な分野の相談ができるよう体制の強化を図っていく。

